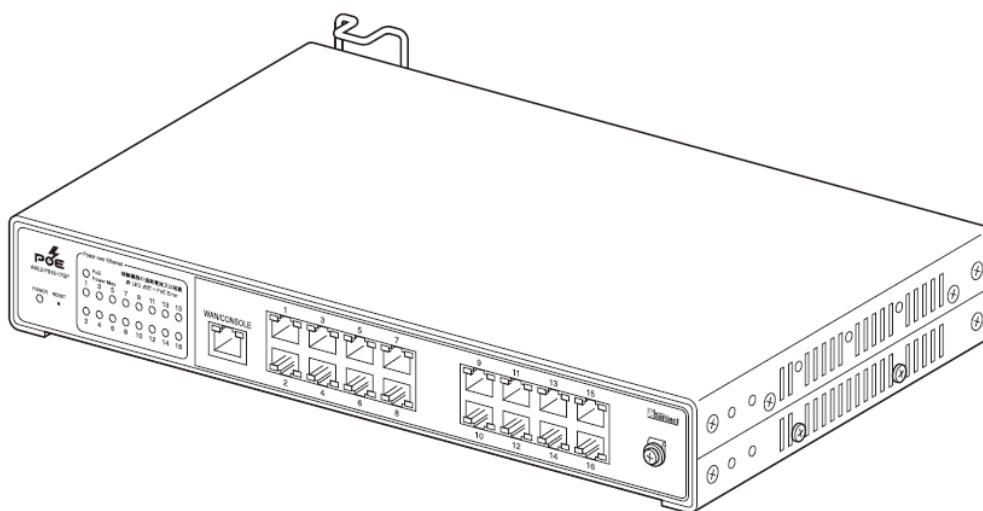


PoE L2マネジメント HUB

AML2-PS16-17GP

取扱説明書

ソフトウェア編



目次

1. イントロダクション	3
2. ステータス	6
2.1. システム情報.....	6
2.2. ログイン.....	7
2.3. ポート.....	8
2.3.1. ポートカウンター.....	8
2.3.2. 帯域利用.....	9
2.4. リンクアグリゲーション.....	10
3. PoE	12
3.1. PoE設定.....	12
3.2. PoEポート設定.....	13
4. ネットワーク	15
4.1. IPアドレス.....	15
4.2. マネージメントVLAN.....	16
4.3. 時間設定.....	17
4.3.1. システム時間.....	17
4.3.2. SNTPサーバー設定.....	18
5. スイッチング	19
5.1. ポート設定.....	19
5.2. ミラー.....	20
5.2.1. ローカルミラーセッティング.....	20
5.3. リンクアグリゲーション.....	21
5.3.1. LAG設定.....	21
5.3.2. LAGマネージメント.....	22
5.3.3. LAGポート設定.....	24
5.3.4. LACP設定.....	25
5.3.5. LACPポート設定.....	26
5.4. VLAN.....	27
5.4.1. VLAN作成.....	27
5.4.2. インターフェースの設定.....	28
5.4.3. Port to VLAN.....	29
5.4.4. ポートVLANメンバーシップ.....	30
5.5. EEE設定.....	32
5.6. マルチキャスト.....	33
5.6.1. マルチキャストプロパティ.....	33
5.6.2. IGMP設定.....	34
5.6.3. IGMPクエリア設定.....	36
5.6.4. IGMPスタティックグループ.....	37
5.6.5. IGMPグループテーブル.....	38
5.7. ジャンボフレーム.....	39
5.8. STP.....	40
5.8.1. STPグローバル設定.....	40
5.8.2. STPポート設定.....	41
5.8.3. CISTインスタンス設定.....	42
5.8.4. CISTポート設定.....	43
5.8.5. STP統計.....	44
6. MACアドレステーブル	44
6.1. スタティックMAC設定.....	44

6.2.	ダイナミックアドレス設定.....	45
6.3.	ダイナミック学習.....	47
7.	セキュリティ.....	47
7.1.	ストームコントロール.....	47
7.1.1.	グローバル設定.....	47
7.1.2.	ポート設定.....	48
7.2.	保護ポート.....	49
7.3.	DoS.....	50
7.3.1.	DoSグローバル設定.....	50
7.3.2.	DoSポート設定.....	52
7.4.	アクセス.....	53
7.4.1.	HTTP.....	53
7.4.2.	HTTPS.....	54
8.	QoS.....	55
8.1.	一般設定.....	55
8.1.1.	QoSプロパティ.....	55
8.1.2.	ポート設定.....	56
8.1.3.	キュー設定.....	57
8.1.4.	CoSマッピング.....	58
8.1.5.	DSCPマッピング.....	59
8.1.6.	IP優先権マッピング.....	60
8.2.	QoSベーシックモード.....	61
8.2.1.	グローバル設定.....	61
8.2.2.	ポート設定.....	62
8.3.	レート制限.....	63
8.3.1.	インGRESS帯域制御.....	63
8.3.2.	イーGRESS帯域制御.....	64
8.3.3.	イーGRESSキュー.....	65
9.	マネージメント.....	66
9.1.	SNMP.....	66
9.1.1.	SNMP設定.....	66
9.1.2.	SNMPコミュニティ.....	67
10.	診断機能.....	68
10.1.	ケーブル診断.....	68
10.1.1.	カッパー試験.....	68
10.2.	PING試験.....	69
10.3.	ロギング設定.....	70
10.3.1.	ロギングサービス.....	70
10.3.2.	ローカルロギング.....	71
10.3.3.	リモートロギング.....	72
10.4.	工場出荷設定.....	73
10.5.	装置のリポート.....	73
11.	メンテナンス.....	74
11.1.	バックアップマネージャー.....	74
11.2.	アップグレードマネージャー.....	78
11.3.	デュアルイメージ.....	79
11.4.	コンフィギュレーションマネージャー.....	80
11.5.	アカウントマネージャー.....	81
12.	本製品のソフトウェア仕様.....	83

1. イントロダクション

Web設定インターフェース

本製品はWeb設定にてネットワークの設定や監視をすることができます。本書ではWeb設定インターフェース(WebUI)を使用するための初期設定について説明します。

① 環境設定

WebUIは、下リストに記載した広く利用されているWebブラウザをサポートしています。

Microsoft Internet Explorer 8以上

Mozilla Firefox 3.5以上

Google Chrome 9.0以上

② ログイン手順

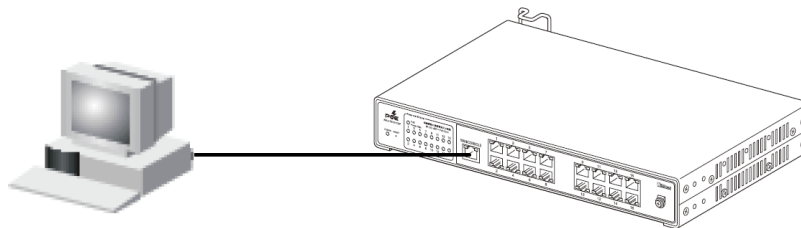
1) 設定用パソコンのIPアドレスを設定します。

本製品のIPアドレスは、デフォルトで以下の通り設定されています。

IPアドレス192.168.1.249 サブネットマスク255.255.255.0

設定用パソコンのIPアドレスを適切な値(例: 192.168.1.2)に変更すれば、Webブラウザを使って設定インターフェースを表示できます。

2) 本製品WAN/コンソールポートと設定用パソコンをLANケーブルで接続します。



設定用パソコン

本製品

IPアドレス

(例) 192.168.1.2

サブネットマスク

(例) 255.255.255.0

IPアドレス

(例) 192.168.1.249

サブネットマスク

(例) 255.255.255.0

3) Webブラウザを起動し、アドレス欄に「192.168.1.249」を入力し、Enterキーを押します。



4)「ユーザー名」と「パスワード」を入力し「OK」をクリックします。

初期ユーザー名 「 admin 」
初期パスワード 「 admin 」

重要 : “ユーザー名”“パスワード”は必ず変更してご使用ください。



5) ログインに成功すると、下記の画面が表示されます。

本製品は、同時に複数のユーザーがWeb設定インターフェースにログインすることが可能です。
同じ設定を変更した場合、設定は上書きされますのでご注意ください。



Abaniact AML2-PS16-17GP L2管理スイッチ

ホーム ログアウト サポート ENGLISH

システム情報

システム情報

情報名	情報値
システム名	Switch
システムロケーション	Default
システムコンタクト	Default
MACアドレス	B8:87:1E:00:4B:A1
IPアドレス	192.168.1.249
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.1.249
ローダーバージョン	11.12.48351
ローダー日付	Mar 14 2014 - 18:33:56
ファームウェアバージョン	1.1.1.00018
ファームウェア日付	Jun 10 2014 - 13:53:37
システムオブジェクトID	1.3.6.1.4.1.27282.3.2.10
システムアップタイム	0日, 0時, 7分, 0秒

③ Web 設定インターフェース画面構成

左列はコンフィグレーションの項目メニューです。

中央上部の本製品フロントパネルイメージ図は、スイッチの現在のリンク状態を表示します。ポート部が緑色はリンクアップ状態、黒色はリンクダウン状態を示します。

フロントパネル図下には各種設定を表示します。

The screenshot displays the web management interface for the AML2-PS16-17GP L2 Management Switch. At the top, the 'baniact' logo and the device name are visible. Below the navigation menu, the 'システム情報' (System Information) section is active. It includes a visual representation of the switch's front panel with 16 ports (1-16) and a WAN port, where green indicates link-up and black indicates link-down. Below this, a table provides detailed system information.

情報名	情報値
システム名	編集 Switch
システムロケーション	編集 Default
システムコンタクト	編集 Default
MACアドレス	B8:87:1E:00:4B:A1
IPアドレス	192.168.1.249
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.1.249
ローダバージョン	11.12.46351
ローダ日付	Mar 14 2014 - 10:33:56
ファームウェアバージョン	1.1.1.00018
ファームウェア日付	Jun 10 2014 - 13:53:37
システムオブジェクトID	1.3.6.1.4.1.27282.3.2.10
システムアップタイム	0日, 0時, 7分, 0秒

図1-1 Web設定インターフェース

2. ステータス

システム情報とステータスの表示は「ステータス」ページで行います。

2.1 システム情報

システム情報のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック：ステータス > システム情報

このページでは、ユーザーがシステム関連情報のコンフィグレーション設定および、MAC アドレス、IP アドレス、ファームウェアバージョン、ローダーバージョン等のシステム情報を閲覧できます。

情報名	情報値
システム名	編集 Switch
システムロケーション	編集 Default
システムコンタクト	編集 Default
MACアドレス	B8:87:1E:00:4B:A1
IPアドレス	192.168.1.249
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.1.249
ローダーバージョン	11.12.46351
ローダー日付	Mar 14 2014 - 16:33:56
ファームウェアバージョン	1.1.1.00018
ファームウェア日付	Jun 10 2014 - 13:53:37
システムオブジェクトID	1.3.6.1.4.1.27282.3.2.10
システムアップタイム	0日, 4時, 26分, 41秒

図 2-1 システム情報ページ

テーブルにある「編集」ボタンを使って、ユーザーはそのフィールドの設定内容を編集できます。

フィールド	説明
システム名	スイッチのシステム名(半角英数字のみ)を入力して下さい。 この名前はCLIでもコマンドラインのプリフィックスに使用されます。 ("Switch>" または "Switch#")
システムロケーション	スイッチのシステムロケーション(設置場所等)を入力して下さい。
システムコンタクト	スイッチのシステムコンタクト(管理者連絡先等)を入力して下さい。

表 2-1 システム情報フィールド

2.2 ログイング

ログイングのウェブ・ページ表示は、次の順でクリック：**ステータス** > **ログイングメッセージ**

このページでは、ユーザーが装置に記録されたログイングメッセージを閲覧できます。ユーザーは、ログイングするターゲット、カテゴリおよび深刻度を選択することによりログイングメッセージをフィルターできます。

- ・「ビュー」ボタンは、ユーザーの選択した条件でフィルターしたログイングメッセージを表示します。
- ・「消去」ボタンは、閲覧しているターゲットのログイングメッセージを消去します。
- ・「リフレッシュ」ボタンは、同じ条件で最新のログイングメッセージにリフレッシュします。

ログイングフィルター選択

ターゲット	深刻度	カテゴリ
バッファ	正常レベル	所有カテゴリ

ログイング情報

情報名	情報値
ターゲット	バッファ
深刻度	緊急、警告、危機、エラー、注意、通知
カテゴリ	AAA, ACL, CABLE_DIAG, DAI, DHCP_SNOOPING, Dot1x, GVRP, IGMP_SNOOPING, IPSG, L2プライオリティ-, LLDP, ミラー, MLD_SNOOPING, プラットフォーム, PM, ポート, ポートセキュリティ-, QoS, レート, SNMP, STP, セキュリティスイート, システム, トランク, VLAN
トータルエントリー	0

ログイングメッセージ

番号	タイムスタンプ	カテゴリ	深刻度	メッセージ
1	Jan 01 2000 08:06:58	AAA	通知	New http connection for user admin, source 192.168.1.210 ACCEPTED
2	Jan 01 2000 08:01:08	ポート	通知	GigabitEthernet17 link up
3	Jan 01 2000 08:01:00	ポート	通知	GigabitEthernet17 link down
4	Jan 01 2000 08:00:58	ポート	通知	GigabitEthernet17 link up
5	Jan 01 2000 08:00:30	システム	通知	システムスタートアップ!
6	Jan 01 2000 08:00:30	システム	通知	ログイングは有効

図 2-2 ログイングメッセージ設定ページ

フィールド	説明
ターゲット	テーブルに表示すログメッセージのソースを選択して下さい。 ・ バッファ : 装置のバッファのログ記録。 ・ フラッシュ : 装置のフラッシュにログ記録。
深刻度	ログメッセージをフィルターする深刻度を選択して下さい。
カテゴリ	ログメッセージをフィルターするカテゴリを選択して下さい。

表 2-2 ログ設定フィールド

2.3 ポート

ポート設定サマリーとステータス情報の表示は「ポート」ページで行います。

2.3.1 ポートカウンター

ポートエラーのウェブ・ページ表示は、次の順でクリック：ステータス > ポート > ポートカウンター

このページでは、ネットワーク・トラフィックの標準カウンターをインターフェース、イーサライクおよび RMON の MIB で表示します。インターフェースとイーサネットライクのカウンターは、各々のポートを通過するトラフィックのエラー数を表示します。RMON カウンターは、各々のポートを通過する異なるフレームタイプの総数を表示します。「消去」ボタンは、選択されているポートの MIB カウンターを消去します。

図 2-3 ポートカウンター設定ページ

フィールド	説明
ポート	ログメッセージをフィルターする深刻度を選択して下さい。
モード	表示するカウンターのタイプを選択して下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・すべて： 静的IPアドレスを有効にして下さい。 ・インターフェース： インターフェース関連のMIBカウンター ・イーサライク： イーサライク関連のMIBカウンター ・RMON： RMON関連のMIBカウンター

表 2-3 ポートカウンター設定フィールド

2.3.2 帯域利用

ポート帯域利用のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック： ステータス > ポート > 帯域利用

このページでは、ポートの帯域利用をリアルタイムで表示します。このページは、指定のリフレッシュ期間で自動的に更新表示されます。

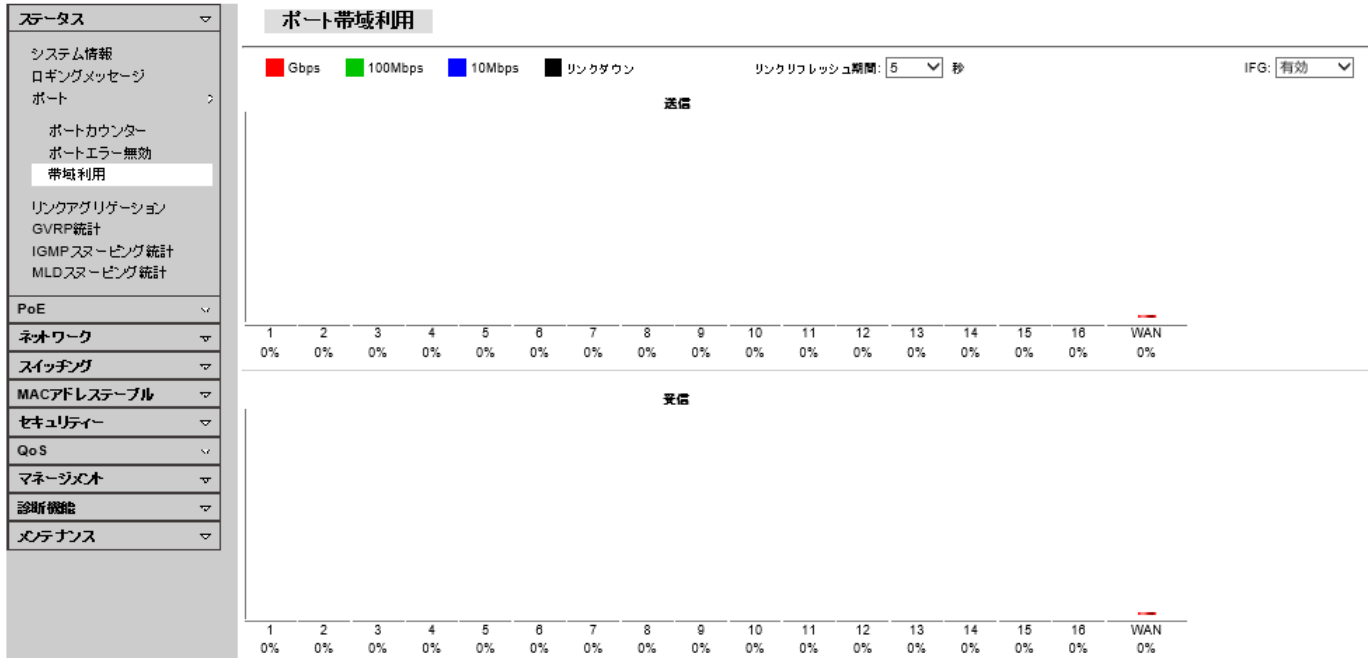


図 2-4 ポート帯域利用ページ

フィールド	説明
リフレッシュ期間	ウェブ・ページを自動的に更新表示する秒数を指定して下さい。
IFG	帯域計算におけるインターフレームギャップを指定して下さい。 ・有効： インターフレームギャップを帯域計算に加算する。 ・無効： インターフレームギャップを帯域計算から削除する。

表 2-4 帯域利用フィールド

2.4 リンクアグリゲーション

トランクグループステータスのウェブ・ページ表示は、次の順でクリック： ステータス > リンクアグリゲーション

図 2-5 リンクアグリゲーションステータス設定ページ

フィールド	説明
LAG	LAG名
名前	LAGポート名
タイプ	LAGタイプ <ul style="list-style-type: none"> ・スタティック: スタティックLAGに割り当てられるポートのグループタイプで常にアクティブメンバーです。 ・LACP: ダイナミックLAGに割り当てられるポートのグループは、候補ポートです。LACPは候補ポートからアクティブメンバーを決定します。
リンクステート	LAGポートのリンクステータス
アクティブメンバー	LAGのアクティブメンバーポート
スタンバイメンバー	LAGのアクティブでない候補メンバーポート

表 2-5 LAG ステータス設定フィールド

フィールド	説明
LAG	LAG名
ポート	メンバーポート名
PartnerSysId	リンクパートナーのシステムID。 ポートがリンクパートナーからLACP PDUを受信時に更新されます。
PnKey	パートナーのポートキー。 ポートがリンクパートナーからLACP PDUを受信時に更新されます。
AtKey	アクターのポートキー。 キーはトランクIDと同じになるよう設計されています。
Sel	ポートのLACP選択ロジックステータス。「S」は選択、「U」は選択されていない、「D」はスタンバイを意味します。
Mux	ポートのLACP muxステートマシンステータスです。「DETACH」はポートがデタッチステート、「WAIT」はウェイトステート、「ATTCH」はアタッチステート、「CLLCT」はコレクティングステート、「DSTRBT」はディストリビューティングステートであることを意味します。
Receiv	ポートのLACP受信ステートマシンステータスです。「INIT」はポートが初期化ステート、「PORTds」はポート無効ステート、「EXPR」は期限切れステート、「LACPds」はLACP無効ステート、「DFLT」はデフォルトステート、「CRRT」はカレントステートを意味します。
PrdTx	ポートのLACP周期送信ステートマシンステータス。「No PRD」はポートが周期ステートでない、「FstPRD」は速い周期ステートである、「SlwPRD」は遅い周期ステートである、「PrdTX」は周期送信ステートにあることを意味します。
AtState	LACP PDUディスクリプションのアクターステート・フィールドです。フィールドは左から右の順で、「LACP_Activity」、「LACP_Timeout」、「Aggregation」、「Synchronaization」、「Collecting」、「Dsitrubuting」、「Deafult」、「Expired」です。 内容は「真」または「偽」で表示され、「偽」の場合はウェブ表示を「_」、 「真」の場合は「A」、「T」、「G」、「S」、「C」、「D」、「F」、「E」をそれぞれの項目に表示します。
PnState	LACP PDUディスクリプションのパートナーステート・フィールドです。フィールドは左から右の順で、「LACP_Activity」、「LACP_Timeout」、「Aggregation」、「Synchronization」、「Collecting」、「Distributing」、「Default」、「Expired」です。 内容は「真」または「偽」で表示され、「偽」の場合はウェブ表示を「_」、 「真」の場合は「A」、「T」、「G」、「S」、「C」、「D」、「F」、「E」をそれぞれの項目に表示します。

表 2-6 LACP 情報設定フィールド

3. PoE

PoE設定とPoEステータス情報の表示は「PoE」ページで行います。

3.1 PoE設定

PoE設定の表示は、次の順でクリック： PoE > PoE設定

このページでは、PoE 検知方法の選択および PoE 電力利用状況を表示します。

情報名	情報値
PoEリミット (W)	198.8
PoE 接続なし (W)	198.8
総合割当電力 (W)	0.0
消費電力 (W)	0.0
利用可能電力 (W)	198.8
消費電力利用率 (%)	0

図 3-1 PoE 設定ページ

フィールド	説明
PoE検知タイプ	PoE検知タイプを指定して下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・レガシー：レガシーなハイキャパシタンス検出を有効にする。 ・IEEE：IEEE検出方法を有効にする。

表 3-1 帯 PoE 検知設定フィールド

フィールド	説明
PoEリミット (W)	PoEの最大総出力。
PoE接続なし (W)	PoE接続なしの時の利用可能電力(=PoEリミットと同等になります)。
総合割当電力 (W)	PDに割り当てられた総電力。 本機の電力管理はPDの実際の消費量に基づいて電力割当するため、割り当てられた総電力はPDの総消費電力と同等になります。
消費電力 (W)	接続されたPD全体の総消費電力。
利用可能電力 (W)	残りの利用可能な電力(=PoEリミット - 消費電力)。
消費電力利用率 (%)	電力消費量の割合(消費電力/PoEリミット)

表 3-2 PoE 情報フィールド

3.2 PoEポート設定

PoEポート設定の表示は、次の順でクリック：PoE > PoEポート設定

このページでは、ユーザーがポートのPoE設定およびポートの現在のPoEステータスを確認できます。

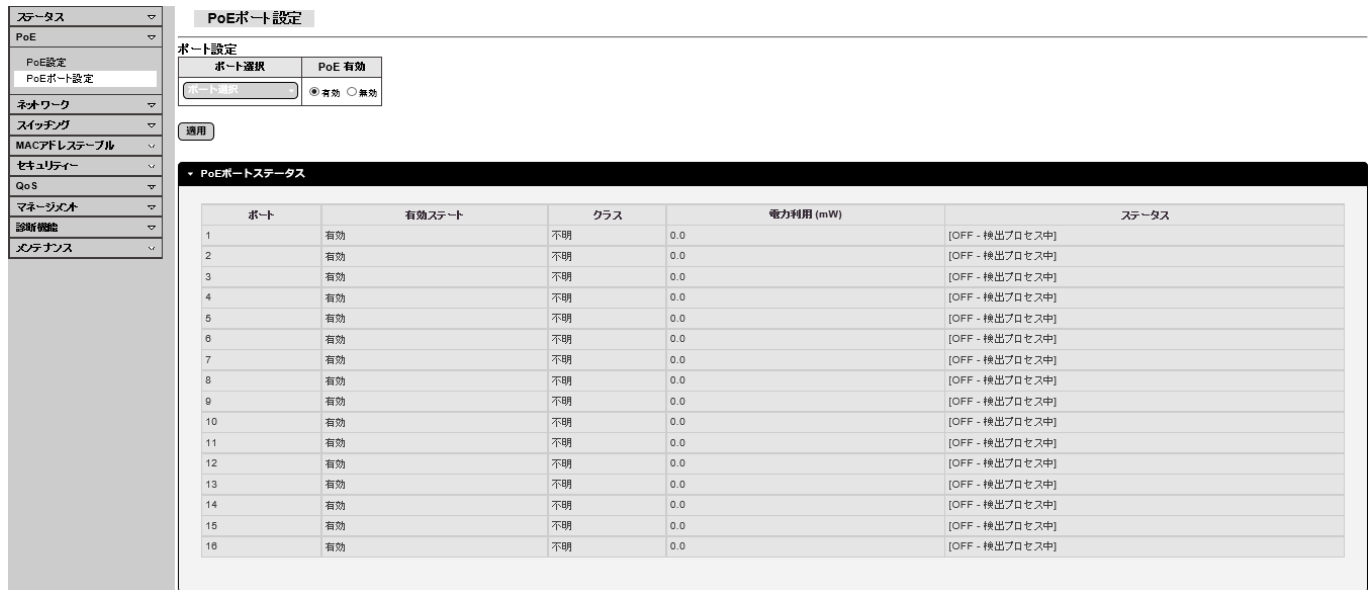


図 3-2 PoE ポート設定ページ

フィールド	説明
ポート選択	コンフィグレーション設定する1つまたは複数のポートを選択して下さい。
PoE有効	ポートのPoE機能を有効・無効に設定する。 ・有効：ポートのPoE機能を有効にする。 ・無効：ポートのPoE機能を無効にする。

表3-3 PoEポート設定フィールド

フィールド	説明
ポート	ポート名
有効ステート	PoE機能のステータス ・有効：PoE機能が有効 ・無効：PoE機能が無効
クラス	検出したPDクラス(クラス0, 1, 2, 3, 4, 不明, エラー)。
電力利用 (mW)	ポートのPoE消費電力。
ステータス	ポートのPoEステータス(給電のON/OFFと検出ステータス)。 ・[OFF - 検出プロセス中]: PoE有効で、検出プロセス進行中。 ・[OFF - ユーザーによる無効設定]: PoEがユーザにより無効に設定。 ・[OFF - PoEマネージメントシャットダウンポート]: PoEがポート優先順位によりシャットダウンされている。 ・[OFF - 非有効PD検出]: 有効で無いPDが検出された。 ・[OFF - スタートアップ失敗]: 接続されているPD起動中に電力を割り当てることができない。 ・[OFF - 過小負荷状態]: 接続されているPDが切断されているように

	<p>見える</p> <ul style="list-style-type: none">・[OFF - 電流制限オーバー状態]: 接続されたPDは、802.3atで規定されたクラスの消費電力を超えている。・[OFF - ユーザー定義負荷オーバー]: 接続されたPDは、ポート最大容量の30 Wを超えている。・[OFF - 温度オーバー]: スイッチ内のPoE ICチップが異常な動作温度を検出した。・[ON - 有効PD検出]: 正常なPDが検出された。・[ON - 電源供給良好]: 正常なPDが検出され、電源が良好に供給されている。・[!エラー!]: 内部エラーが発生しました。
--	---

表 3-4 PoE ポートステータスフィールド

4. ネットワーク

スイッチ・ネットワークインターフェース設定のコンフィグレーションおよびリモートサーバーへの接続方法は「ネットワーク」ページで行います。

4.1 IPアドレス

IPアドレスのウェブ・ページ表示は、次の順でクリック： ネットワーク > IPアドレス

モード	<input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> DHCP
IPアドレス	192.168.1.249
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.1.249
DNSサーバー1	168.95.1.1
DNSサーバー2	168.95.192.1

情報名	情報値
DHCPステート	無効
スタティックIPアドレス	192.168.1.249
スタティックサブネットマスク	255.255.255.0
スタティックゲートウェイ	192.168.1.249
スタティックDNSサーバー1	168.95.1.1
スタティックDNSサーバー2	168.95.192.1

図4-1 IPアドレス設定ページ

フィールド	説明
モード	ネットワーク接続モードを選択して下さい。 ・スタティック：スタティック(固定)IPアドレスを有効にします。 ・DHCP：DHCPを有効にし、ネットワーク上のDHCPサーバーからIP情報を取得します。
IPアドレス	スタティックモードの場合、このフィールドにIPアドレスを入力して下さい。
サブネットマスク	スタティックモードの場合、このフィールドにサブネットマスクを入力して下さい。
ゲートウェイ	スタティックモードの場合、このフィールドにゲートウェイアドレスを入力して下さい。
DNSサーバー1	スタティックモードの場合、このフィールドにプライマリーDNSサーバーアドレスを入力して下さい。
DNSサーバー2	スタティックモードの場合、このフィールドにセカンダリーDNSサーバーアドレスを入力して下さい。

表 4-1 IP アドレス設定フィールド

4.2 マネージメントVLAN

マネージメントVLAN設定のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック： ネットワーク > マネージメントVLAN

図4-2 管理VLAN設定ページ

フィールド	説明
マネージメントVLAN	これは、マネージメント局がTCP/IP（インバンドのウェブ・マネージャまたはテルネット経由）を利用して、装置の管理を許可するVLANのエントリです。ここで選択された以外のVLAN上にあるマネージメント局からは装置の管理はできません。 マネージメントVLANのデフォルトは、VLAN 1です。

表4-2 管理VLAN設定フィールド

4.3 時間設定

4.3.1 システム時間

システム時間のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック： ネットワーク > 時間設定 > システム時間

<ul style="list-style-type: none"> ステータス ▾ PoE ▾ ネットワーク ▾ IPアドレス マネージャ/VLAN 時間設定 > <li style="background-color: #e0e0e0;">システム時間 SNTP設定 スイッチング ▾ MACアドレステーブル ▾ セキュリティ ▾ QoS ▾ マネージャ ▾ 診断機能 ▾ メンテナンス ▾ 	システム時間
システム時間設定	
SNTP有効	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
マニュアル時間	年 [2000] 月 [Jan] 日 [1] 時 [0] 分 [0] 秒 [0]
タイムゾーン	[None]
デライトセービングタイム	[無効]
デライトセービングタイムオフセット	[60] (1 - 1440) 分
循環 From	日付 [日] 週 [1] 月 [1月] 時 [0] 分 [0]
循環 To	日付 [日] 週 [1] 月 [1月] 時 [0] 分 [0]
非循環 From	年 [2000] 月 [1月] 日 [1] 時 [0] 分 [0]
非循環 To	年 [2000] 月 [1月] 日 [1] 時 [0] 分 [0]
適用	
システムタイム情報	
情報名	情報値
現在の日付/時刻	08:50:58 DFL(UTC+8) Jan 01 2000
SNTP	無効
タイムゾーン	UTC+8
デライトセービングタイム	無効
デライトセービングタイムオフセット	
From	
To	

図4-3 システム時間設定ページ

フィールド	説明
SNTP有効	SNTPサーバーの使用を有効するまたは無効にするを選択して下さい。
マニュアル時間	時間を指定して下さい。
タイムゾーン	タイムゾーンを選択して下さい。
デライトセービングタイム	デライトセービングタイムのモードを選択して下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・無効： デライトセービングタイム無し。 ・循環： デライトセービングタイムを循環モードで使用する。 ・非循環： デライトセービングタイムを非循環モードで使用する。 ・USA： 北米のデライトセービングタイムを使用する。 (3月第2日曜日より開始し、11月第1日曜日で終わる) ・European： 北欧のデライトセービングタイムを使用する。 (3月第1日曜日より開始し、10月最後の日曜日で終わる)
デライトセービングタイムオフセット	デライトセービングタイムのオフセット調整を指定して下さい。
循環 From	デライトセービングタイム循環モードの開始時間を指定して下さい。 このフィールドは循環モード時に有効です。
循環 To	デライトセービングタイム循環モードの終了時間を指定して下さい。 このフィールドは循環モード時に有効です。
非循環 From	デライトセービングタイム非循環モードの開始時間を指定して下さい。 このフィールドは非循環モード時に有効です。

非循環 To	デライトセービングタイム非循環モードの終了時間を指定して下さい。 このフィールドは非循環モード時に有効です。
--------	---

表4-3 システム時間設定フィールド

3. 3. 2 SNTPサーバー設定

SNTPサーバー設定のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック： ネットワーク > 時間設定 > SNTP設定

The screenshot shows the 'SNTPサーバー設定' (SNTP Server Setting) page. On the left is a navigation menu with categories like 'ステータス', 'PoE', 'ネットワーク', 'スイッチング', etc. The main content area is titled 'SNTPサーバー設定' and contains two input fields: 'SNTP/NTPサーバーアドレス' (with a placeholder '(X.X.X.Xまたはホスト名)') and 'サーバーポート' (with a value of '123' and a placeholder '(1-65535 | デフォルト: 123)'). Below these is an '適用' (Apply) button. At the bottom, there is a section titled 'SNTPサーバー情報' (SNTP Server Information) containing a table with the following data:

情報名	情報値
SNTPサーバーアドレス	
SNTPサーバーポート	123

図4-4 SNTPサーバー設定ページ

フィールド	説明
SNTP/NTP サーバーアドレス	タイムサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力して下さい。
サーバーポート	タイムサーバーのポート番号を入力して下さい。デフォルトは123です。

表4-4 SNTPサーバー設定

5. スイッチング

スイッチ・ポート、トランク、レイヤ2プロトコルおよびその他スイッチ機能の設定コンフィグレーションは「スイッチング」ページで行います。

5.1 ポート設定

ポート設定のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック： **スイッチング** > **ポート設定**

このページでは、ユーザーがスイッチ・ポートの設定コンフィグレーションおよびポートの現在のステータスを確認できます。また各ポートのポートディスクリプションは「編集」ボタンを使って設定内容を編集できます。

The screenshot shows the 'ポート設定' (Port Configuration) page. At the top, there is a configuration table with columns: 'ポート選択' (Port Selection), '有効' (Enabled), 'スピード' (Speed), 'デュプレックス' (Duplex), and 'フロー制御' (Flow Control). Below this is a '適用' (Apply) button. The main part of the page is a table titled 'ポートステータス' (Port Status) with columns: 'ポート' (Port), 'ディスクリプション' (Description), '有効ステータス' (Enabled Status), 'リンクステータス' (Link Status), 'スピード' (Speed), 'デュプレックス' (Duplex), 'フロー制御エントリ' (Flow Control Entry), and 'フロー制御ステータス' (Flow Control Status). The table lists ports 1 through 16 and a WAN port, all with '有効' (Enabled) status and 'ダウン' (Down) link status.

図5-1 ポート設定ページ

フィールド	説明
ポート選択	コンフィグレーション設定する1つまたは複数のポートを選択して下さい。
有効	ポート管理ステータス。 ・有効：ポートを使用可能にする。 ・無効：ポートを使用不能にする。
スピード	ポート速度の設定。 ・オート：すべての速度に対応可能な自動速度。 ・自動10M：10Mのみ対応可能な自動速度。 ・自動100M：100Mのみ対応可能な自動速度。 ・自動1000M：1000Mのみ対応可能な自動速度。 ・自動10M/100M：10M/100Mに対応可能な自動速度。 ・10M：10Mのみ対応可能な強制速度 ・100M：100Mのみ対応可能な強制速度 ・1000M：1000Mのみ対応可能な強制速度。
デュプレックス	ポートデュプレックス能力の設定。 ・自動：自動デュプレックス。 ・ハーフ：10Mと100Mのみ対応可能な自動速度。

	・フル: 10M/100M/1000Mのみ対応可能な自動速度。
フロー制御	フロー制御の設定。 ・有効: フロー制御を有効にする。 ・無効: フロー制御を無効にする。

表5-1 ポート設定フィールド

5.2 ミラー

5.2.1 ローカルミラー設定

ローカルミラー設定のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック: **スイッチング** > **ミラー** > **ローカルミラー設定**

The screenshot shows the 'Mirror Configuration' page. On the left is a navigation menu with 'Switching' expanded to 'Local Mirror Configuration'. The main area contains a 'Mirror Configuration' table with the following fields:

セッションID	選択セッション
モニターセッションステート	無効
デスティネーションポート	1
イングレス許可	無効
スニファア受信ポート	選択受信ポート
スニファア送信ポート	選択送信ポート

Below the configuration is a 'Mirror Status' table:

セッションID	デスティネーションポート	イングレスステート	ソース送信ポート	ソース受信ポート
1	N/A	N/A	N/A	N/A
2	N/A	N/A	N/A	N/A
3	N/A	N/A	N/A	N/A
4	N/A	N/A	N/A	N/A

図5-1 ミラー設定ページ

フィールド	説明
セッションID	ミラーセッションIDを選択して下さい。
モニターセッションステート	ミラーセッションステートの選択: ポートベースのミラー、VLANベースのミラー、または無効にする。
デスティネーションポート	デスティネーションポートを選択して下さい。
イングレス許可	デスティネーションポートのイングレスステートを選択して下さい。
スニファア受信ポート	ミラーセッションソース受信ポートの選択で、portbased-enabledが選択され「モニターセッションステート」がポートベースのミラー時のみ、このフィールドは有効です。
スニファア送信ポート	ミラーセッションソース送信ポートの選択で、portbased-enabledが選択され「モニターセッションステート」がポートベースのミラー時のみ、このフィールドは有効です。
スニファアVLAN	スニファアVLANの選択で、「モニターセッションステート」がVLANベースのミラー時のみ、このフィールドは有効です。

表5-1 ミラー設定フィールド

5.3 リンクアグリゲーション

5.3.1 LAG設定

LAG設定のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック： **スイッチング** > **リンクアグリゲーション** > **LAG設定**

図5-2 LAG設定ページ

フィールド	説明
ロードバランス アルゴリズム	LAGロードバランスディストリビューションのアルゴリズムを選択して下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・MACアドレス: すべてのパケットをソースとデスティネーションのMACアドレスに基づきます。 ・IP/MACアドレス: IPパケットはソースとデスティネーションのIPアドレスに基づき、非IPパケットはソースとデスティネーションのMACアドレスに基づきます。

表5-2 LAG設定フィールド

フィールド	説明
ロードバランス アルゴリズム	LAGロードバランスディストリビューションのアルゴリズム。

表5-3 LAG情報フィールド

5. 3. 2 LAGマネージメント

LAGマネージメントのウェブ・ページ表示は、次の順でクリック： スイッチング > リンクアグリゲーション > LAGマネージメント

LAG	名称	タイプ	ポート
LAG1		<input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> LACP	ポート選択

適用

LAG	名称	タイプ	リンクステータス	アクティブメンバー	スタンバイメンバー	変更
LAG1		---	存在しない	-	-	編集
LAG2		---	存在しない	-	-	編集
LAG3		---	存在しない	-	-	編集
LAG4		---	存在しない	-	-	編集
LAG5		---	存在しない	-	-	編集
LAG6		---	存在しない	-	-	編集
LAG7		---	存在しない	-	-	編集
LAG8		---	存在しない	-	-	編集

図5-3 LAGマネージメント設定ページ

フィールド	説明
LAG	コンフィグレーション設定するLAGポートを選択して下さい。
名称	LAGポートのディスクリプション
タイプ	LAGタイプを選択して下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・スタティック：スタティックLAGに割り当てられるポートのグループは、常にアクティブメンバーです。 ・LACP：ダイナミックLAGに割り当てられるポートのグループは、候補ポートです。LACPIは、候補ポートからアクティブメンバーを決定します。
ポート	このフィールドでトランクメンバーポートを選択して下さい。メンバーポートの選択には以下の制約があります： <ul style="list-style-type: none"> ・LAGのすべてのポートは、同じメディアタイプであること。 ・LAGにポートを追加するためには、デフォルトVLAN以外のVLANに属していないこと。 ・LAGのポートは、他のLAGには割り当てられていないこと。 ・LAGのポートは、ミラーポートでないこと。 ・LAGに割り当てられるポートは8ポート以下であること。 ・LAGにポートを追加する時、LAGのコンフィグレーションはポートに適用されます。LAGからポートを削除する時、その元のコンフィグレーションが再適用されます。トランクあたり最大でも8メンバーポートであること。

表5-4 トランクグループ設定フィールド

フィールド	説明
LAG	コンフィグレーション設定するLAGポートを選択して下さい。
名称	LAGポートのディスクリプション
タイプ	LAGタイプを選択して下さい。 ・ スタティック : スタティックLAGに割り当てられるポートのグループは、常にアクティブメンバーです。 ・ LACP : ダイナミックLAGに割り当てられるポートのグループは、候補ポートです。LACPIは、候補ポートからアクティブメンバーを決定します。
リンクステート	LAGポートのリンクステータス。
アクティブメンバー	LAGのアクティブメンバーポート。
スタンバイメンバー	LAGの非アクティブメンバーまたは候補メンバーポート。
変更	「編集」ボタンをクリックするとLAGを編集できます。

表5-5 LAGマネージメント情報フィールド

5. 3. 3 LAGポート設定

LAGポート設定のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック： **スイッチング** > **リンクアグリゲーション** > **LAGポート設定**

LAGポート設定

LAGポート設定

LAG選択	有効	スピード	フロー制御
LAGs選択	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	自動	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効

適用

LAGポートステータス

LAG	ディスクリプション	ポートタイプ	有効ステータス	リンクステータス	スピード	デュプレックス	フロー制御コンフィグ	フロー制御ステータス
LAG1			有効		自動	自動	無効	無効
LAG2			有効		自動	自動	無効	無効
LAG3			有効		自動	自動	無効	無効
LAG4			有効		自動	自動	無効	無効
LAG5			有効		自動	自動	無効	無効
LAG6			有効		自動	自動	無効	無効
LAG7			有効		自動	自動	無効	無効
LAG8			有効		自動	自動	無効	無効

図5-4 LAGポート設定ページ

フィールド	説明
LAG選択	コンフィグレーション設定するLAGポートを選択して下さい。
有効	ポート管理ステータス。 ・有効：ポートを使用可能にする。 ・無効：ポートを使用不能にする。
スピード	ポート速度の設定。 ・オート：すべての速度に対応可能な自動速度。 ・自動10M：10Mのみ対応可能な自動速度。 ・自動100M：100Mのみ対応可能な自動速度。 ・自動1000M：1000Mのみ対応可能な自動速度。 ・自動10M/100M：10M/100Mに対応可能な自動速度。 ・10M：10Mのみ対応可能な強制速度 ・100M：100Mのみ対応可能な強制速度 ・1000M：1000Mのみ対応可能な強制速度。
フロー制御	フロー制御の設定。 ・有効：フロー制御を有効にする。 ・無効：フロー制御を無効にする。

表5-6 LAGポート設定フィールド

フィールド	説明
LAG	LAG名
ディスクリプション	LAGポートディスクリプション
ポートタイプ	メンバーポートのメディアタイプ

有効ステート	LAGポートの管理ステート
リンクステータス	LAGポートリンクステータス
スピード	現在のLAGポート速度
デュープレックス	現在のLAGポートデュープレックス
フロー制御コンフィグ	LAGポートのフロー制御コンフィグレーション
フロー制御ステータス	現在のLAGポートのフロー制御ステート

表5-6 LAGポートステータス設定フィールド

5.3.4 LACP設定

LACP設定のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック：[スイッチング](#) > [リンクアグリゲーション](#) > [LACP設定](#)

The screenshot shows the LACP configuration page. On the left is a navigation menu with 'スイッチング' expanded to show 'リンクアグリゲーション' and 'LACP設定'. The main content area is titled 'LACP' and contains the 'LACP設定' section. A 'システムプライオリティ' field is set to 32768. Below it is a 'LACP情報' table with the following data:

情報名	情報値
システムプライオリティ	32768

図5-5 LACP設定ページ

フィールド	説明
システムプライオリティ	LACPのシステムプライオリティをコンフィグレーション設定して下さい。これによりLACP PDUのシステムプライオリティフィールドを決定します。

表5-7 LACP設定フィールド

フィールド	説明
システムプライオリティ	LACPシステムプライオリティの値。

表5-8 LACP情報フィールド

5.3.5 LACPポート設定

LACPポート設定のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック：**スイッチング** > **リンクアグリゲーション** > **LACPポート設定**

図5-6 LACPポート設定ページ

フィールド	説明
選択ポート	コンフィグレーション設定する1つまたは複数のポートを選択して下さい。
プライオリティ	ポートのLACPプライオリティ値を入力して下さい。
タイムアウト	LACP PDUの周期的送信を選択して下さい。 ・長い： ゆっくり周期(30秒)でLACP PDUを送信します。 ・短い： 早い周期(1秒)でLACPP DUを送信します。

表5-9 LACPポート設定フィールド

フィールド	説明
ポート名	コンフィグレーション設定されたポート。
プライオリティ	ポートのLACPプライオリティ値。
タイムアウト	LACP PDUの周期的送信の選択。 ・長い： ゆっくり周期(30秒)でLACP PDUを送信します。 ・短い： 早い周期(1秒)でLACPP DUを送信します。

表5-10 LACPポート情報フィールド

5.4 VLAN

バーチャルLAN (VLAN) は、物理的なロケーションとは無関係に、まるで同じブロードキャストドメインにあるかの様に通信するための要求事項をサポートするホストグループです。VLANは物理的なLAN (LAN) と同じ特質がありますが、同じネットワークスイッチのある場所に置かれていなくても、グループ化が可能です。VLANメンバーシップは、物理的な装置接続を再配置する代わりに、ソフトウェアによってコンフィグレーション設定することができます。

5.4.1 VLAN作成

VLAN作成のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック： **スイッチング** > **VLAN管理** > **VLAN作成**

図5-7 VLAN作成ページ

フィールド	説明
VLANリスト	操作 (追加/削除/編集) を適用するVLANリストを指定して下さい。
VLANアクション	操作を選択します。VLANに追加/削除/編集する。
VLAN名プリフィックス	新しく作成されたVLAN名のプリフィックスを指定して下さい。 このフィールドは、追加アクションでのみ利用できます。

表5-11 VLAN作成フィールド

5. 4. 2 インターフェースの設定

インターフェース設定のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック： **スイッチング** > **VLAN管理** > **インターフェースの設定**

The screenshot shows the 'インターフェース設定編集' (Interface Configuration Edit) page. The form includes the following fields:

- ポート選択**: A dropdown menu for selecting the port.
- インターフェースVLANモード**: Radio buttons for 'ハイブリッド' (selected), 'アクセス', and 'トンネル'.
- PVID**: A text input field with '1' and a range '(1-4094)' below it.
- 許可タイプ**: Radio buttons for 'オール' (selected), 'タグオンリー', and 'アンタグオンリー'.
- イングレスフィルタリング**: Radio buttons for '有効' (selected) and '無効'.
- アップリンク**: Radio buttons for '有効' (selected) and '無効'.
- TPID**: A dropdown menu with '0x8100' selected.

Below the form is a table titled 'ポートVLANステータス' (Port VLAN Status) with the following columns: 'ポート', 'インターフェースVLANモード', 'PVID', '許可フレームタイプ', 'イングレスフィルタリング', 'アップリンク', and 'TPID'. The table lists ports 1 through 16, WAN, and LAG1 through LAG5, all with 'トランク' mode, PVID '1', 'オール' frame type, '有効' ingress filtering, '無効' uplink, and '0x8100' TPID.

図5-8 インターフェース設定編集ページ

フィールド	説明
ポート選択	インターフェースのコンフィグレーション設定する指定ポートまたはすべてのポートを選択して下さい。
インターフェースVLANモード	インターフェースのVLAN方法を選んで下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ハイブリッド: IEEE 802.1Q仕様で定めるすべての機能をサポート。 ・アクセス: アンタグフレームの受付しタグ無しVLANにジョイン。 ・トランク: 1つまでのVLANのタグ無しメンバー、および0以上のVLANのタグ付メンバー。 ・トンネル: ポートベースのQ-in-Qモード。
PVID	ポートベースVLAN ID (1-4094)を指定して下さい。 これはハイブリッドおよびトランクモードで利用できます。
許可タイプ	指定インターフェースの許可できるフレームタイプを指定して下さい。 これはハイブリッドモードで利用できます。
イングレスフィルタリング	イングレスフィルタリングのステータスを指定して下さい。 これはハイブリッドモードで利用できます。
アップリンク	ポートのアップリンクルールを指定して下さい。 これはトランクモードで利用できます。
TPID	アップリンクポートのためにTPID値を指定して下さい。 それは、アップリンクが有効な時、トランクモードで利用できます。

表5-12 インターフェースの設定フィールド

5. 4. 3 Port to VLAN

「Port to VLAN」のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック： **スイッチング** > **VLAN管理** > **Port to VLAN**

ポート	インターフェースVLANモード	メンバーシップ	PVID
1	トランク	<input type="radio"/> 禁止 <input type="radio"/> 除外 <input type="radio"/> タグ付き <input checked="" type="radio"/> タグ無し	<input checked="" type="checkbox"/>
2	トランク	<input type="radio"/> 禁止 <input type="radio"/> 除外 <input type="radio"/> タグ付き <input checked="" type="radio"/> タグ無し	<input checked="" type="checkbox"/>
3	トランク	<input type="radio"/> 禁止 <input type="radio"/> 除外 <input type="radio"/> タグ付き <input checked="" type="radio"/> タグ無し	<input checked="" type="checkbox"/>
4	トランク	<input type="radio"/> 禁止 <input type="radio"/> 除外 <input type="radio"/> タグ付き <input checked="" type="radio"/> タグ無し	<input checked="" type="checkbox"/>
5	トランク	<input type="radio"/> 禁止 <input type="radio"/> 除外 <input type="radio"/> タグ付き <input checked="" type="radio"/> タグ無し	<input checked="" type="checkbox"/>
6	トランク	<input type="radio"/> 禁止 <input type="radio"/> 除外 <input type="radio"/> タグ付き <input checked="" type="radio"/> タグ無し	<input checked="" type="checkbox"/>
7	トランク	<input type="radio"/> 禁止 <input type="radio"/> 除外 <input type="radio"/> タグ付き <input checked="" type="radio"/> タグ無し	<input checked="" type="checkbox"/>
8	トランク	<input type="radio"/> 禁止 <input type="radio"/> 除外 <input type="radio"/> タグ付き <input checked="" type="radio"/> タグ無し	<input checked="" type="checkbox"/>
9	トランク	<input type="radio"/> 禁止 <input type="radio"/> 除外 <input type="radio"/> タグ付き <input checked="" type="radio"/> タグ無し	<input checked="" type="checkbox"/>
10	トランク	<input type="radio"/> 禁止 <input type="radio"/> 除外 <input type="radio"/> タグ付き <input checked="" type="radio"/> タグ無し	<input checked="" type="checkbox"/>
11	トランク	<input type="radio"/> 禁止 <input type="radio"/> 除外 <input type="radio"/> タグ付き <input checked="" type="radio"/> タグ無し	<input checked="" type="checkbox"/>
12	トランク	<input type="radio"/> 禁止 <input type="radio"/> 除外 <input type="radio"/> タグ付き <input checked="" type="radio"/> タグ無し	<input checked="" type="checkbox"/>
13	トランク	<input type="radio"/> 禁止 <input type="radio"/> 除外 <input type="radio"/> タグ付き <input checked="" type="radio"/> タグ無し	<input checked="" type="checkbox"/>
14	トランク	<input type="radio"/> 禁止 <input type="radio"/> 除外 <input type="radio"/> タグ付き <input checked="" type="radio"/> タグ無し	<input checked="" type="checkbox"/>
15	トランク	<input type="radio"/> 禁止 <input type="radio"/> 除外 <input type="radio"/> タグ付き <input checked="" type="radio"/> タグ無し	<input checked="" type="checkbox"/>
16	トランク	<input type="radio"/> 禁止 <input type="radio"/> 除外 <input type="radio"/> タグ付き <input checked="" type="radio"/> タグ無し	<input checked="" type="checkbox"/>
WAN	トランク	<input type="radio"/> 禁止 <input type="radio"/> 除外 <input type="radio"/> タグ付き <input checked="" type="radio"/> タグ無し	<input checked="" type="checkbox"/>
LAG1	トランク	<input type="radio"/> 禁止 <input type="radio"/> 除外 <input type="radio"/> タグ付き <input checked="" type="radio"/> タグ無し	<input checked="" type="checkbox"/>
LAG2	トランク	<input type="radio"/> 禁止 <input type="radio"/> 除外 <input type="radio"/> タグ付き <input checked="" type="radio"/> タグ無し	<input checked="" type="checkbox"/>
LAG3	トランク	<input type="radio"/> 禁止 <input type="radio"/> 除外 <input type="radio"/> タグ付き <input checked="" type="radio"/> タグ無し	<input checked="" type="checkbox"/>
LAG4	トランク	<input type="radio"/> 禁止 <input type="radio"/> 除外 <input type="radio"/> タグ付き <input checked="" type="radio"/> タグ無し	<input checked="" type="checkbox"/>
LAG5	トランク	<input type="radio"/> 禁止 <input type="radio"/> 除外 <input type="radio"/> タグ付き <input checked="" type="radio"/> タグ無し	<input checked="" type="checkbox"/>
LAG6	トランク	<input type="radio"/> 禁止 <input type="radio"/> 除外 <input type="radio"/> タグ付き <input checked="" type="radio"/> タグ無し	<input checked="" type="checkbox"/>
LAG7	トランク	<input type="radio"/> 禁止 <input type="radio"/> 除外 <input type="radio"/> タグ付き <input checked="" type="radio"/> タグ無し	<input checked="" type="checkbox"/>

図5-9 Port to VLAN設定ページ

フィールド	説明
ポート	Port to VLANのコンフィグレーション設定するVLAN IDを選択して下さい。
インターフェースVLANモード	そのポートのインターフェースVLANモードを表示。
メンバーシップ	指定されたVLAN IDで、そのポートのメンバーシップを選択して下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・禁止： VLANで指定ポートを禁止。 ・除外： VLANで指定ポートを除外。 ・タグ付き： VLANで指定ポートをタグ付け。 ・タグ無し： VLANで指定ポートをタグ無し。
PVID	チェックボックスにチェックすると、VLAN IDはポートベースのVLAN IDになります。

表5-13 Port to VLAN設定フィールド

5. 4. 4 ポートVLANメンバーシップ

ポートVLANメンバーシップのウェブ・ページ表示は、次の順でクリック： **スイッチング** > **VLAN管理** > **ポートVLANメンバーシップ**

このページでは、メンバーシップ情報の閲覧ができます。「編集」ボタンを使って、指定ポートのメンバーシップを編集できます。

ポート	モード	アドミニストレーティブVLANs	オペレーショナルVLANs	変更
1	トランク	1UP	1UP	編集
2	トランク	1UP	1UP	編集
3	トランク	1UP	1UP	編集
4	トランク	1UP	1UP	編集
5	トランク	1UP	1UP	編集
6	トランク	1UP	1UP	編集
7	トランク	1UP	1UP	編集
8	トランク	1UP	1UP	編集
9	トランク	1UP	1UP	編集
10	トランク	1UP	1UP	編集
11	トランク	1UP	1UP	編集
12	トランク	1UP	1UP	編集
13	トランク	1UP	1UP	編集
14	トランク	1UP	1UP	編集
15	トランク	1UP	1UP	編集
16	トランク	1UP	1UP	編集
WAN	トランク	1UP	1UP	編集
LAG1	トランク	1UP	1UP	編集
LAG2	トランク	1UP	1UP	編集
LAG3	トランク	1UP	1UP	編集
LAG4	トランク	1UP	1UP	編集
LAG5	トランク	1UP	1UP	編集
LAG6	トランク	1UP	1UP	編集
LAG7	トランク	1UP	1UP	編集
LAG8	トランク	1UP	1UP	編集

図5-10 ポートVLANメンバーシップ・ページ

フィールド	説明
ポート	ポートエントリを表示します。
モード	ポートのインターフェースVLANモードを表示します。
アドミニストレーティブVLANs	ポートのアドミニストレーティブVLANリストを表示します。
オペレーショナルVLANs	ポートのオペレーショナルVLANリストを表示します。
変更	「編集」ボタンをクリックしてポートのVLANメンバーシップを編集します。

表5-14 ポートVLANメンバーシップ設定フィールド

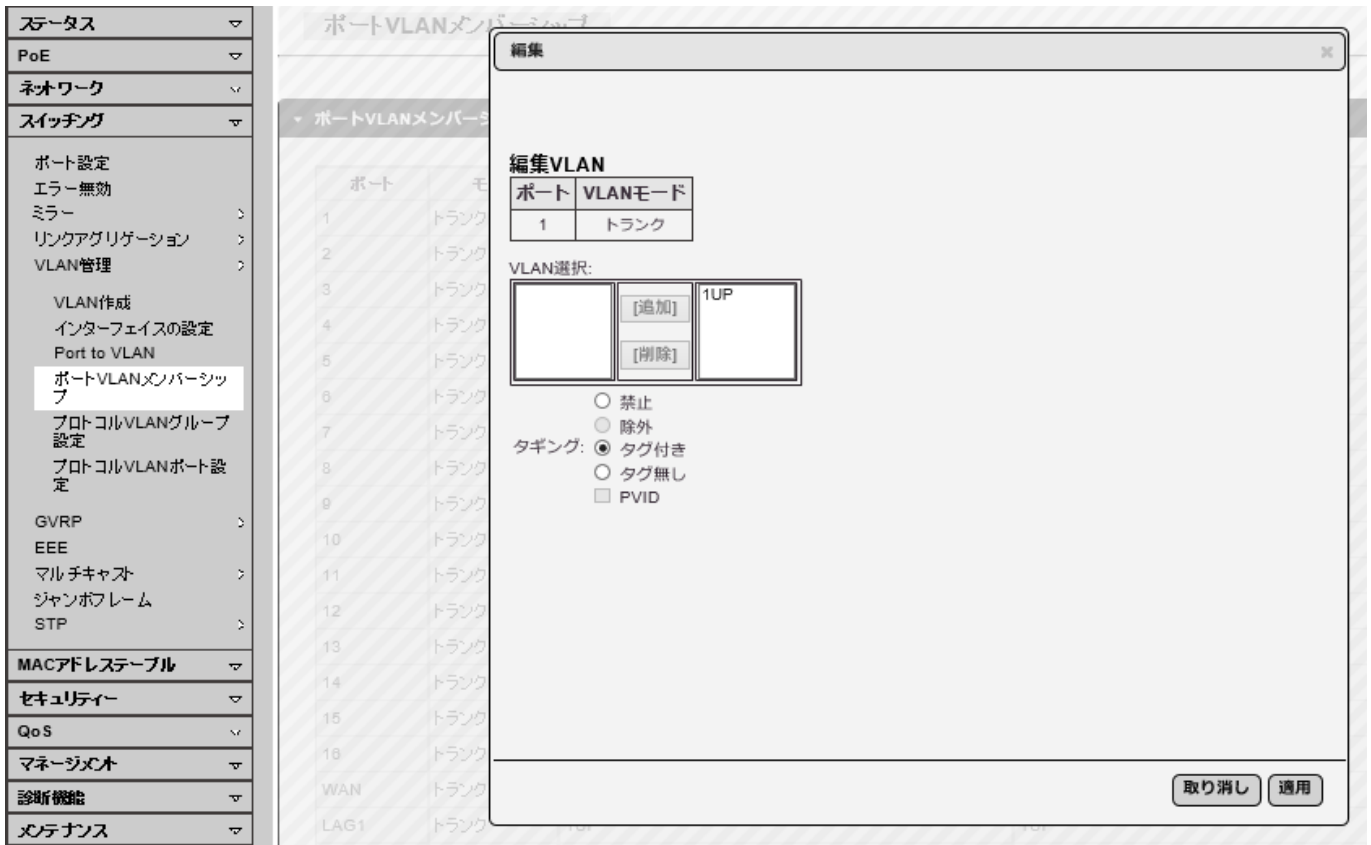


図5-11 ポートVLANメンバーシップ編集ページ

フィールド	説明
選択VLAN	左側の利用可能なVLANを追加、または右側の使用中のVLANを削除を選択して下さい。
タグging	このポートの指定VLANのVLANメンバーシップを選択して下さい。
PVID	このポートのポートベースVLAN IDにするVLAN IDをチェックボックスでチェックして選択して下さい。

表5-15 ポートVLANメンバーシップ編集フィールド

5.5 EEE設定

EEE設定のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック： **スイッチング** > EEE

このページでは、ポートのEEE(エネルギー効率イーサネット)機能を有効または無効することができます。

ポート	EEEステータス
1	無効
2	無効
3	無効
4	無効
5	無効
6	無効
7	無効
8	無効
9	無効
10	無効
11	無効
12	無効
13	無効
14	無効
15	無効
16	無効
WAN	無効

図5-12 EEE設定ページ

フィールド	説明
ポート	コンフィグレーション設定する1つまたは複数のポートを選択して下さい。
有効	ポートEEEの機能を選択して下さい。 ・有効: EEE機能を有効にします。 ・無効: EEE機能を無効にします。

表5-16 EEE設定フィールド

5.6 マルチキャスト

5.6.1 マルチキャストプロパティ

マルチキャストプロパティのウェブ・ページ表示は、次の順でクリック：**スイッチング** > **マルチキャスト** > **プロパティ**

このページでは、マルチキャストフィルタリングと未知のマルチキャストアクションを設定します。



図5-13 マルチキャストプロパティ設定ページ

フィールド	説明
未知のマルチキャストアクション	未知のマルチキャストアクションを設定して下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ドロップ： 未知のマルチキャストデータはドロップ。 ・フラッド： 未知のマルチキャストデータはフラッド。 ・ルーターポート： 未知のマルチキャストデータはルーターポートにフォワード。
IPv4フォワードメソッド	IPv4マルチキャストのフォワードメソッドを設定して下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・MAC： フォワードメソッドはdmac+vid ・Src-Dst-Ip： フォワードメソッドはdip+sip
IPv6フォワードメソッド	IPv6マルチキャストのフォワードメソッドを設定して下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・MAC： フォワードメソッドはdmac+vid ・Src-Dst-Ip： フォワードメソッドはdip+sip (dip low 32 bit, sip low 24bit + 40-47bit)

表5-17 マルチキャストプロパティ設定フィールド

5. 6. 2 IGMP設定

IGMP設定のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック： **スイッチング** > **マルチキャスト** > **IGMP設定**

このページではIGMPスヌーピングでのVLANパラメータを設定します。

The screenshot shows the IGMP Snooping configuration page. On the left is a navigation menu with 'スイッチング' expanded to 'マルチキャスト' and 'IGMP設定' selected. The main content area is titled 'IGMPスヌーピング' and contains several sections:

- IGMPスヌーピング**: A table with three rows:

IGMPスヌーピングステータス	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
IGMPスヌーピングバージョン	<input checked="" type="radio"/> v2 <input type="radio"/> v3
IGMPスヌーピングレポート	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
- 適用**: A button to apply the settings.
- IGMPスヌーピング情報**: A table showing the current configuration values:

情報名	情報値
IGMPスヌーピングステータス	有効
IGMPスヌーピングバージョン	v2
IGMPスヌーピングv2レポートサプレッション	有効
- IGMPスヌーピングテーブル**: A table listing IGMP Snooping entries:

エントリー番号	VLAN ID	IGMPスヌーピングオペレーションステータス	ルーターポート自動学習	クエリーロバスタネス	クエリー間隔(秒)	クエリー最大応答間隔(秒)	ラポート番号クエリー数	ラポート番号クエリー間隔(秒)	伝送遅延リブ	変更
1	1	無効	有効	2	125	10	2	1	無効	<input type="button" value="編集"/>

図5-14 IGMPスヌーピング設定ページ

フィールド	説明
IGMPスヌーピングステータス	IGMP機能のステータスを設定して下さい。 ・ 有効 : IGMPスヌーピングを有効にします。 ・ 無効 : IGMPスヌーピングを無効にします。
IGMPスヌーピングバージョン	IGMPスヌーピングのバージョンを設定します。 ・ v2 : IGMP v2パケット処理をサポート。 ・ v3 : v3およびv2ベースをサポート。
IGMPスヌーピングレポートサプレッション	IGMP v2レポートサプレッションのステータスを設定して下さい。 ・ 有効 : IGMPスヌーピングv2レポートサプレッションを有効にします。 ・ 無効 : IGMPスヌーピングv2レポートサプレッションを無効にします。
エントリー番号	IGMPエントリー番号。
VLAN ID	IGMPエントリーのVLAN ID。
IGMPスヌーピングオペレーションステータス	IGMP VLAN機能のステータス。 ・ 有効 : IGMPスヌーピングでIGMP VLANとマルチキャストフィルタリングが有効。 ・ 無効 : IGMPスヌーピング、IGMP VLANまたはマルチキャストフィルタリングが無効。
ルーターポート自動学習	IGMPルーターポート学習のステータスを設定して下さい。 ・ 有効 : クエリー、PIMおよびDVRMPによるルーターポートの学習を有効にします。 ・ 無効 : ルーターポートの自動学習を無効にします。

クエリーロバストネス	ロバストネス値によって、サブネット上でのパケットロス进行调整します。
クエリー間隔	ジェネラルクエリーを送信する間隔。
クエリー最大応答間隔	メンバーシップクエリーメッセージにおいて、応答レポートを送信するまでの時間を1/10秒単位で指定して下さい。
ラストメンバークエリー数	グループからリーブグループメッセージを受信した時に、スイッチから送信するグループ特有クエリーの数。
ラストメンバークエリー間隔	グループからリーブグループメッセージを受信した時に、スイッチが送信するグループ特有クエリーの送信間隔。
イミディエイトリーブ	IGMPリーブメッセージを受信した時のイミディエイトリーブの設定。 ・有効：ファーストリーブを有効にする。 ・無効：ファーストリーブを無効にする。

表5-18 IGMPスヌーピング設定フィールド

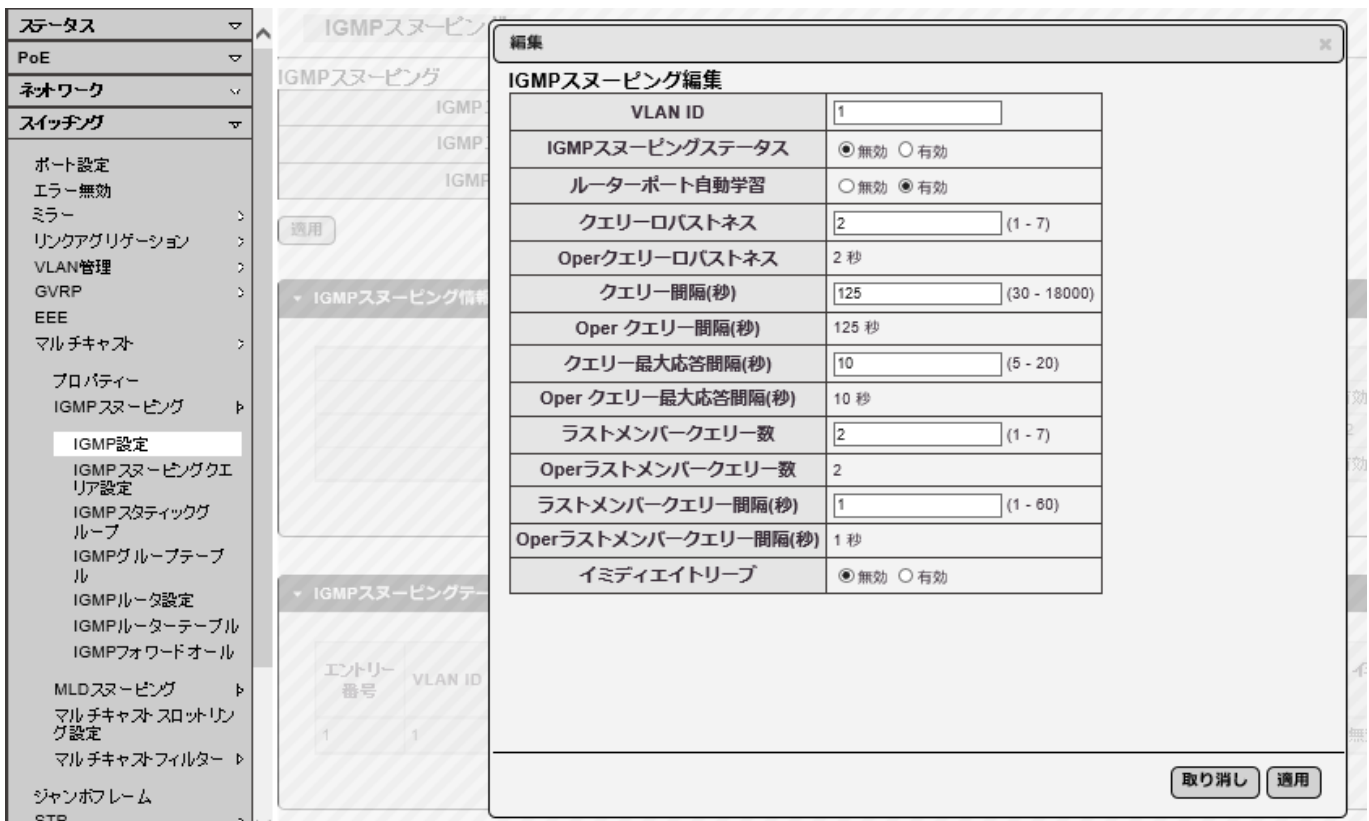


図5-15 IGMPスヌーピング編集ページを詮索しているページ

フィールド	説明
VLAN ID	IGMPのVLAN ID。
IGMPスヌーピングステータス	IGMP VLAN機能のステータスを設定して下さい。 ・有効：IGMP VLAN有効。 ・無効：IGMP VLAN無効。
ルーターポート自動学習	IGMPルーターポート学習のステータスを設定して下さい。 ・有効：クエリー、PIMおよびDVRMPによるルーターポートの学習を有効にする。 ・無効：ルーターポートの自動学習を無効にする

クエリーロバストネス	ロバストネス値によって、サブネット上でのパケットロス进行调整します。
クエリー間隔	管理クエリーを間隔。
Operクエリー間隔	オペレーションクエリーの間隔。
クエリー最大応答間隔	管理クエリーの最大応答間隔。
Operクエリー最大応答間隔	オペレーションクエリーの最大応答間隔。
ラストメンバークエリー数	ラストメンバーの管理クエリー数。
Operラストメンバークエリー数	ラストメンバーのオペレーションクエリー数。
ラストメンバークエリー間隔	ラストメンバーの管理クエリー間隔。
Operラストメンバークエリー間隔	ラストメンバーのオペレーションクエリー間隔。
イミディエイトリーブ	IGMPリーブメッセージを受信した時のイミディエイトリーブの設定。 ・有効: ファーストリーブを有効にする。 ・無効: ファーストリーブを無効にする。

表5-19 IGMPスヌーピング編集フィールド

5. 6. 3 IGMPクエリア設定

IGMPクエリア設定のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック: スイッチング > マルチキャスト > IGMPスヌーピング > IGMPスヌーピングクエリア設定

このページでは、指定VLANのIGMPスヌーピングクエリアをコンフィグレーション設定します。

The screenshot shows the 'IGMPスヌーピングクエリア設定' (IGMP Snooping Querier Configuration) page. On the left is a navigation menu with 'スイッチング' expanded. The main area has a title 'IGMPスヌーピングクエリア設定' and a sub-section 'IGMPクエリア設定'. Below this is a table with columns 'VLAN ID', 'クエリアステート', and 'クエリアバージョン'. The 'VLAN ID' field is set to 'VLAN100'. The 'クエリアステート' has radio buttons for '無効' (selected) and '有効'. The 'クエリアバージョン' has radio buttons for 'v2' (selected) and 'v3'. A '適用' button is below. Further down is a section 'IGMPクエリアステータス' containing a table:

VLAN ID	クエリアステート	IGMPクエリアステータス	クエリアバージョン	クエリアIP
1	無効	非クエリー	---	---

図5-16 IGMPスヌーピングクエリア設定画面

フィールド	説明
VLAN ID	コンフィグレーション設定するVLAN IDを選択して下さい。
クエリアステート	指定VLANでのIGMPクエリアエレクションのステータスを選択して下さい。 ・有効: IGMPクエリアを有効にします。 ・無効: IGMPクエリアを無効にします。
クエリアバージョン	指定VLANでのIGMPクエリアエレクションのクエリーバージョンを選択して下さい。 ・v2: クエリアバージョンv2 ・v3: クエリアバージョンv3

表5-20 IGMPクエリア設定フィールド

5. 6. 4 IGMPスタティックグループ

IGMPスタティックグループ設定のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック: **スイッチング** > **マルチキャスト** > **IGMPスヌーピング** > **IGMPスタティックグループ**

このページでは、IGMPのスタティックグループを設定します。



図5-17 IGMPスタティックグループ設定ページ

フィールド	説明
VLAN ID	コンフィグレーション設定するVLAN IDを選択して下さい。
グループIPアドレス	このグループのIPアドレス。
メンバーポート	このグループのメンバーポート。

表5-21 IGMPスタティックグループ設定フィールド

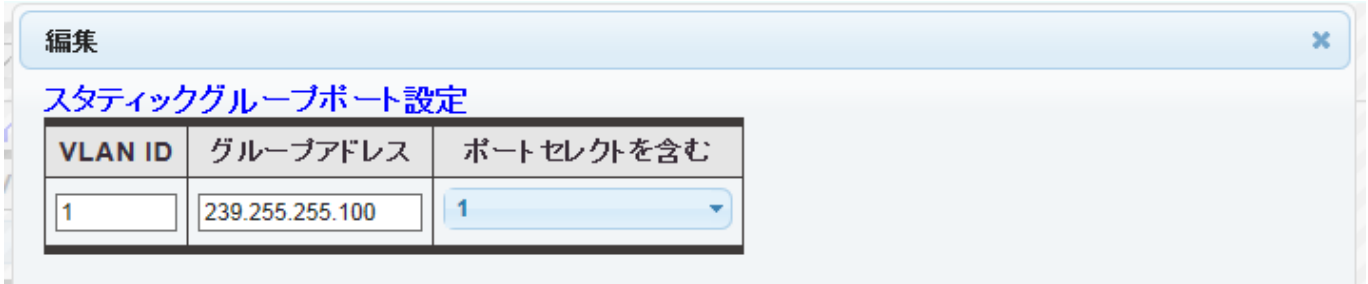


図5-18 IGMPスヌーピングスタティックグループ編集ページ

フィールド	説明
VLAN ID	スタティックグループのVLAN ID。
グループアドレス	グループアドレス。
インクルードポート	スタティックメンバーのポート。

表5-22 IGMPスタティックグループ設定フィールド

5. 6. 5 IGMPグループテーブル

IGMPグループテーブルのウェブ・ページ表示は、次の順でクリック： **スイッチング** > **マルチキャスト** > **IGMPスヌーピング** > **IGMPグループテーブル**

このページでは、IGMPスヌーピングのIGMPグループ情報を閲覧できます。



図5-19 IGMPグループテーブル設定ページ

フィールド	説明
VLAN ID	グループのVLAN ID。
グループIPアドレス	グループのグループIPアドレス。
メンバーポート	グループのメンバーポート。
タイプ	グループのタイプ - スタティックまたはダイナミック。
ライフ	グループのライフタイム。

表5-23 IGMPグループテーブル設定フィールド

5.7 ジャンボフレーム

ジャンボフレーム設定のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック： [スイッチング](#) > [ジャンボフレーム](#)

このページでは、スイッチのジャンボフレームをコンフィグレーション設定します。

ステータス	ジャンボフレーム
ステータス	ジャンボフレーム設定
ジャンボフレーム (バイト)	1522 (1518-9216)
適用	
ジャンボフレームコンフィグ	
情報名	情報値
ジャンボフレーム (バイト)	1522

図5-20 ジャンボフレーム設定ページ

フィールド	説明
ジャンボフレーム	ジャンボフレームサイズ。有効範囲は、64バイト～9216バイトです。

表5-24 ジャンボフレーム設定フィールド

5. 8 STP

スパニング・ツリー・プロトコル(STP)は、ブリッジ接続されたイーサネットLANにおいてループフリーなトポロジーを確実にするネットワークプロトコルです。

5. 8. 1 STPグローバル設定

STPグローバル設定のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック：**スイッチング** > **STP** > **STPグローバル設定**

このページでは、STPの一般的項目をコンフィグレーション設定します。

STPグローバル設定	
有効	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
BPDUフォワード	<input checked="" type="radio"/> フラッディング <input type="radio"/> フィルタリング
PathCost Method	<input type="radio"/> ショート <input checked="" type="radio"/> ロング
Force Version	RSTP-Operation
コンフィグレーション名	B8:87:1E:00:4B:A1 (最大32文字)
コンフィグレーションレビジョン	0 (0 - 65535)

適用

STP情報	
情報名	値
STP	有効
BPDUフォワード	フラッディング
コストメソッド	ロング
Force Version	RSTP-Operation
コンフィグレーション名	B8:87:1E:00:4B:A1
コンフィグレーションレビジョン	0

図5-21 STPグローバル設定ページ

フィールド	説明
有効	スイッチのSTP有効・無効ステータスを指定して下さい。
BPDUフォワード	グローバルSTPが無効な時のBPDUフォワーディングアクションを指定して下さい。
PathCost Method	パスコストをショートまたはロングで指定して下さい。
Force Version	STPのオペレーティングモードを設定して下さい。 ・STP-Compatible: IEEE 802.1D STPオペレーション。 ・RTSP-Operation: IEEE 802.1wオペレーション。
コンフィグレーション名	コンフィグレーションID名を設定して下さい。
コンフィグレーションレビジョン	コンフィグレーションIDのレビジョンを設定して下さい。 (範囲: 0-65535)

表5-25 STPグローバル設定フィールド

5. 8. 2 STPポート設定

STP ポート設定のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック：**スイッチング** > **STP** > **STP ポート設定**

このページでは、STP ポートの一般的項目のコンフィグレーション設定と CIST ポートステータスを閲覧できます。

ポート	Admin 有効	エクスターナルパスコスト	エッジポート	BPDUフィルター	BPDUガード	P2P MAC
1	有効	0	いいえ	いいえ	いいえ	はい
2	有効	0	いいえ	いいえ	いいえ	はい
3	有効	0	いいえ	いいえ	いいえ	はい
4	有効	0	いいえ	いいえ	いいえ	はい
5	有効	0	いいえ	いいえ	いいえ	はい
6	有効	0	いいえ	いいえ	いいえ	はい
7	有効	0	いいえ	いいえ	いいえ	はい
8	有効	0	いいえ	いいえ	いいえ	はい
9	有効	0	いいえ	いいえ	いいえ	はい
10	有効	0	いいえ	いいえ	いいえ	はい
11	有効	0	いいえ	いいえ	いいえ	はい
12	有効	0	いいえ	いいえ	いいえ	はい
13	有効	0	いいえ	いいえ	いいえ	はい
14	有効	0	いいえ	いいえ	いいえ	はい
15	有効	0	いいえ	いいえ	いいえ	はい
16	有効	0	いいえ	いいえ	いいえ	はい
WAN	有効	0	いいえ	いいえ	いいえ	はい
LAG1	有効	0	いいえ	いいえ	いいえ	はい
LAG2	有効	0	いいえ	いいえ	いいえ	はい
LAG3	有効	0	いいえ	いいえ	いいえ	はい
LAG4	有効	0	いいえ	いいえ	いいえ	はい
LAG5	有効	0	いいえ	いいえ	いいえ	はい
LAG6	有効	0	いいえ	いいえ	いいえ	はい

図 5-22 STP ポート設定ページ

フィールド	説明
ポート	設定を適用するポートをポートリストから選択して下さい。
Admin有効	設定を適用するポートをポートリストから選択して下さい。
エクスターナルパスコスト	ポートのコントリビューションを設定して下さい。ルートポートの場合、ブリッジのルートパスコストに対する設定です。(0は「オート」です)。
エッジポート	エッジポートをコンフィグレーション設定して下さい。 ・いいえ： 偽ステートへ強制(ブリッジへのリンクとして) ・はい： 真ステートへ強制(ホストへのリンクとして)
BPDUフォワード	STPポートが無効な時のBPDUフォワーディングアクションを指定して下さい。
BPDUフィルター	BPDUフィルタをコンフィグレーション設定して下さい。 ・いいえ： BPDUフィルター機能を無効にします。 ・はい： BPDUフィルター機能を有効にします。 指定ポートからのBPDU送受信を回避します。
BPDUガード	BPDUガードをコンフィグレーション設定して下さい。 ・いいえ： BPDUガード機能を無効にします。 ・はい： BPDUガード機能を有効にします。 指定ポートの受信したBPDUのドロップしエラーを回避します。
P2P MAC	Point-to-Pointポートをコンフィグレーション設定して下さい。 ・いいえ： 偽ステートへ強制 ・はい： 真ステートへ強制

マイグレート	新しいMST/RST BPDUの使うよう強制します。これによりポートのLANセグメントから新しいBPDUフォーマットが除去されたことを理解できないレガシー・システムを仮想的にテストします。
--------	--

表5-26 STPポート設定フィールド

5. 8. 3 CIST インスタンス設定

CIST インスタンス設定のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック：**スイッチング** > **STP** > **CIST インスタンス設定**

このページでは、STP の CIST インスタンスの一般的項目のコンフィギュレーション設定と CIST ステータスを閲覧できます。

The screenshot displays the 'CIST Instance Configuration' page. On the left is a navigation menu with 'CIST Instance Configuration' selected. The main content area is divided into three sections:

- CIST Instance Configuration:** A table of input fields for parameters:

プライオリティ	32768
最大ホップ	20 (1-40)
フォワード遅延	15 (4-30)
最大エージ	20 (8-40)
送信ホールド数	6 (1-10)
ハロータイム	2 (1-10)
- CIST Instance Information:** A table showing the current values for the same parameters:

情報名	情報値
プライオリティ	32768
最大ホップ	20
フォワード遅延	15
最大エージ	20
送信ホールド数	6
ハロータイム	2
- CIST Instance Status:** A table showing the status of various ports:

情報名	情報値
ブリッジ演習子	32768 / 0/BB:87:1E:00:4B:A1
テストドメイン-シェルトアップ	32768 / 0/BB:87:1E:00:4B:A1
外部ルートバースト	0
リージョンループアップ	32768 / 0/BB:87:1E:00:4B:A1
インターナルループバースト	0
テストドメイン-シールドアップ	32768 / 0/BB:87:1E:00:4B:A1
ルートポート	0 / 0
遅延ホップ	20
ラストホールド時間	4075

図 5-23 CIST インスタンス設定ページ

フィールド	説明
プライオリティ	CISTインスタンスのブリッジプライオリティを設定して下さい。
最大ホップ	リージョンの最大ホップ数を設定して下さい。
フォワード遅延	インターフェースがブロッキングステートからフォワーディングステートへ収束するまでの遅延時間を設定して下さい。
最大エージ	Hello BPDUが届かなくなってからSTPトポロジを変更するまでにどのスイッチも待たなければならない時間を設定して下さい。
送信ホールド数	BPDU伝送速度を制限するのに用いられる送信ホールド数を設定して下さい。
ハロータイム	指定ポートのBPDU周期送信間隔を設定放送の間を設定して下さい。

表5-27 CISTインスタンス設定フィールド

5. 8. 4 CIST ポート設定

CIST ポート設定のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック：**スイッチング** > **STP** > **CIST ポート設定**

このページでは、STP CIST ポートの一般的な項目のコンフィグレーション設定と CIST ポートステータスを閲覧できます。

The screenshot shows the 'CIST ポート設定' (CIST Port Configuration) page. It includes a left sidebar with navigation options like 'ステータス', 'ネットワーク', and 'スイッチング'. The main content area has three configuration fields: 'ポート選択' (Port Selection) with a dropdown menu, 'プライオリティ' (Priority) with a numeric input set to 128, and 'インターナルパスコスト' (Internal Pass Cost) with a numeric input set to 0. Below these is a '適用' (Apply) button. The lower section, titled 'CISTポートステータス' (CIST Port Status), contains a table with 15 columns: 'ポート', '適用済みプライオリティ / ポートID', 'エクスターナルパスコスト / エンフックOper', 'インターナルパスコスト / エンフックOper', 'アステイクーラロトアラガ', 'エクスターナルルートコスト', 'リゾナルトアラガ', 'インターナルルートコスト', 'アステイクーラロトアラガ', 'エッジポート / コンフィグOper', 'P2P MAC / コンフィグOper', 'ポートロール', and 'ポートステート'. The table lists various ports (1-18, LAG1-8, WAN) and their corresponding values for these parameters.

図 5-24 CIST ポート設定ページ

フィールド	説明
ポート選択	この設定を適用するポートをポートリストから選択して下さい。
プライオリティ	CISTインスタンスで選択されたポートのポートプライオリティを設定して下さい。
インターナルパスコスト	CISTインスタンスで選択されたポートのインターナルパスコストを設定して下さい。(0は「オート」)

表5-28 CISTポート設定フィールド

5. 8. 5 STP 統計

STP 統計をウェブ・ページ表示は、次の順でクリック： **スイッチング** > **STP** > **STP 統計**
このページでは、STP の一般的な統計を閲覧できます。

ポート	BPDUs 受信			BPDUs 送信		
	エラー無効	TCN	MSTP	エラー無効	TCN	MSTP
1	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0
4	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0	0
8	0	0	0	0	0	0
9	0	0	0	0	0	0
10	0	0	0	0	0	0
11	0	0	0	0	0	0
12	0	0	0	0	0	0
13	0	0	0	0	0	0
14	0	0	0	0	0	0
15	0	0	0	0	0	0
16	0	0	0	0	0	0
WAN	0	0	0	0	0	2131
LAG1	0	0	0	0	0	0
LAG2	0	0	0	0	0	0
LAG3	0	0	0	0	0	0
LAG4	0	0	0	0	0	0
LAG5	0	0	0	0	0	0
LAG6	0	0	0	0	0	0
LAG7	0	0	0	0	0	0
LAG8	0	0	0	0	0	0

図 5-25 STP 統計ページ

6. MAC アドレステーブル

MAC アドレスマックテーブルのページでは、ダイナミック MAC テーブルの閲覧、およびスタティック MAC エントリーをコンフィグレーション設定できます。

6. 1 スタティック MAC 設定

スタティック MAC 設定のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック： **MAC アドレステーブル** > **スタティック MAC 設定**

スタティックMAC

スタティックMAC設定

スタティックMAC設定	VLAN	ポート
00:00:00:00:00:00	default	1

追加

スタティックMACステータス

No.	MACアドレス	VLAN	ポート	削除
1	B8:87:1E:00:4B:A1	default(1)	CPU	

図 6-1 スタティック MAC アドレス設定ページ

フィールド	説明
スタティックMAC設定	静的伝送するパケットのMACアドレス。 ユニキャストMACアドレスだけをサポート。
VLAN	スタティックMACが所属するVLANを選択して下さい。
ポート	MACエントリーのポート番号を選択して下さい。

表6-1 スタティックMACアドレス設定フィールド

6.2 ダイナミックアドレス設定

ダイナミックアドレス設定のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック：**MAC アドレステーブル** > **ダイナミックアドレス設定**

図 6-2 ダイナミックアドレス設定ページ

フィールド	説明
エイジング時間	ダイナミックMACのエイジングアウト時間を設定して下さい。 (有効範囲 10-63)

表6-2 ダイナミックアドレス設定フィールド

6.3 ダイナミック学習

MACアドレスのダイナミック学習のウェブ・ページの表示は、次の順でクリック： **MACアドレステーブル** > **ダイナミック学習**

図 6-3 ダイナミック学習ページ

フィールド	説明
ポート	ダイナミックMACエントリーを表示または消去するポート番号を選択して下さい。ポート番号、VLAN、MACアドレスの何れの指定も無い場合は全てのダイナミックMACテーブルが表示または消去されます。
VLAN	ダイナミックMACエントリーを表示または消去するVLANを選択して下さい。ポート番号、VLAN、MACアドレスの何れの指定も無い場合は全てのダイナミックMACテーブルが表示または消去されます。
MACアドレス	ダイナミックMACエントリーを表示または消去するMACアドレスを選択して下さい。ポート番号、VLAN、MACアドレスの何れの指定も無い場合は全てのダイナミックMACテーブルが表示または消去されます。

表6-3 ダイナミック学習フィールド

7. セキュリティー

セキュリティー設定ページでは、スイッチのセキュリティー機能をコンフィグレーション設定できます。

7.1 ストームコントロール

7.1.1 グローバル設定

ストームコントロールグローバル設定のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック：**セキュリティー** > **ストームコントロール** > **グローバル設定**

The screenshot shows the 'Storm Control Global Settings' page. On the left is a navigation menu with 'Security' expanded to 'Storm Control' > 'Global Settings'. The main content area has a title 'Storm Control Global Settings' and a '適用' (Apply) button. Below this are two configuration rows: 'Unit' with radio buttons for 'pps' and 'bps' (selected), and 'Preamble & IFG' with radio buttons for '除外' (selected) and '含む' (omit). At the bottom, a table titled 'Storm Control Global Information' displays the current settings: Unit is 'bps' and Preamble & IFG is '除外'.

情報名	情報値
ユニット	bps
プリアンブル & IFG	除外

図 7-1 ストームコントロールグローバル設定ページ

フィールド	説明
ユニット	ストームコントロールの計算ユニットを選択して下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・pps: ストームコントロールレートをパケットベースで計算。 ・bps: ストームコントロールレートをオクテットベースで計算。
プリアンブル & IFG	プリアンブル&IFG(20バイト)無しでのレート計算を選択して下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・除外: イングレスストームコントロールレート計算でプリアンブル&IFG(20バイト)を除外する。 ・含む: イングレスストームコントロールレート計算でプリアンブル&IFG(20バイト)を含める。

表 7-1 ストームコントロールグローバル設定フィールド

7. 1. 2 ポート設定

ストームコントロールのポート設定のウェブ・ページは、次の順でクリック： [セキュリティ](#) > [ストームコントロール](#) > [ポート設定](#)

The screenshot shows the 'Storm Control Port Configuration' page. On the left is a navigation menu with categories like 'System Status', 'PoE', 'Network', 'Switching', 'MAC Address Table', 'Security', 'Storm Control', 'QoS', 'Management', 'Diagnosis', and 'Maintenance'. The 'Storm Control' section is expanded to show 'Global Settings' and 'Port Settings'. The main content area is titled 'Storm Control Port Configuration' and contains a table with columns: Port, Port State, Action, Type Effective, and Rate (Kbps). Below this is a 'Global Information' section with a table listing ports 1 through 16 and WAN, with columns for Port, Port State, Broadcast (Kbps), Unknown Multicast (Kbps), Unknown Unicast (Kbps), and Action.

ポート	ポートステート	アクション	タイプ有効	レート (Kbps)
1	無効	ドロップ	<input type="checkbox"/> ブロードキャスト	10000
2	無効	ドロップ	<input type="checkbox"/> 未知のマルチキャスト	10000
3	無効	ドロップ	<input type="checkbox"/> 未知のユニキャスト	10000

ポート	ポートステート	ブロードキャスト (Kbps)	未知のマルチキャスト (Kbps)	未知のユニキャスト (Kbps)	アクション
1	無効	オフ (10000)	オフ (10000)	オフ (10000)	ドロップ
2	無効	オフ (10000)	オフ (10000)	オフ (10000)	ドロップ
3	無効	オフ (10000)	オフ (10000)	オフ (10000)	ドロップ
4	無効	オフ (10000)	オフ (10000)	オフ (10000)	ドロップ
5	無効	オフ (10000)	オフ (10000)	オフ (10000)	ドロップ
6	無効	オフ (10000)	オフ (10000)	オフ (10000)	ドロップ
7	無効	オフ (10000)	オフ (10000)	オフ (10000)	ドロップ
8	無効	オフ (10000)	オフ (10000)	オフ (10000)	ドロップ
9	無効	オフ (10000)	オフ (10000)	オフ (10000)	ドロップ
10	無効	オフ (10000)	オフ (10000)	オフ (10000)	ドロップ
11	無効	オフ (10000)	オフ (10000)	オフ (10000)	ドロップ
12	無効	オフ (10000)	オフ (10000)	オフ (10000)	ドロップ
13	無効	オフ (10000)	オフ (10000)	オフ (10000)	ドロップ
14	無効	オフ (10000)	オフ (10000)	オフ (10000)	ドロップ
15	無効	オフ (10000)	オフ (10000)	オフ (10000)	ドロップ
16	無効	オフ (10000)	オフ (10000)	オフ (10000)	ドロップ
WAN	無効	オフ (10000)	オフ (10000)	オフ (10000)	ドロップ

図 7-2 ストームコントロールポート設定ページ

フィールド	説明
ポート	設定するポートを選択して下さい。
ポートステート	設定ステートを選択して下さい。 ・無効：ストームコントロール機能を無効にします。 ・有効：ストームコントロール機能を有効にします。
アクション	設定ステートを選択して下さい。 ドロップ：ストームコントロールレートを越えたパケットはドロップ。
タイプ有効	ストームコントロールのタイプを選択して下さい。 ・ブロードキャスト：ブロードキャストパケット ・未知のユニキャスト：未知のユニキャストパケット ・未知のマルチキャスト：未知のマルチキャストパケット
レート	ストームコントロールレートの値を設定して下さい。値はppsまたはKbpsでグローバルモード設定に依存します。(範囲 0-1000000)

表 7-2 ストームコントロールポート設定フィールド

7.2 保護ポート

保護ポートのウェブ・ページ表示は、次の順でクリック：**セキュリティ** > **保護ポート**

このページでは、ポート相互の通信を防止するために保護ポートをコンフィグレーション設定します。

The screenshot shows the 'Protection Port' configuration page. On the left is a navigation menu with 'セキュリティ' expanded to '保護ポート'. The main content area has a title '保護ポート' and a '保護ポート設定' section. This section includes a 'ポートリスト' field with a '保護ポート追加' button and a 'ポートタイプ' field with radio buttons for '保護無し' (selected) and '保護あり'. Below is a '適用' button. A '保護ポートステータス' section contains a table:

ポートタイプ	ポートリスト
保護ありポート	
保護無しポート	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, WAN, LAG1, LAG2, LAG3, LAG4, LAG5, LAG6, LAG7, LAG8

図 7-3 保護ポート設定ページ

フィールド	説明
ポートリスト	コンフィグレーション設定する1つまたは複数のポートを選択して下さい。
ポートタイプ	<p>ポート保護タイプを選択して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護無し： 保護無しのポートは全てのポートと通信できます。 ・保護有り： 保護ありポートはポート相互の通信は防止されます。

表7-3 保護ポート設定フィールド

7.3 DoS

7.3.1 DoS グローバル設定

DoS グローバル設定のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック：**セキュリティ** > **DoS** > **DoS グローバル設定**

このページでは、DoS をコンフィグレーション設定し、DoS 機能を有効または無効に設定します。

DoS グローバル設定	
DMAC = SMAC	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
Land	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
UDP Blat	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
TCP Blat	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
POD	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
ICMPフラグメント	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
IPv4 Ping 最大サイズ	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
Smurf攻撃	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効 ネットマスク長: <input type="text" value="0"/> (0-32)
TCP最小ヘッダーサイズ	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効 バイト: <input type="text" value="20"/> (0-31)
TCP-SYN(SPORT<1024)	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
ヌルスキャン攻撃	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
X-Masスキャン攻撃	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
TCP SYN-FIN攻撃	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
TCP SYN-RST攻撃	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
TCPフラグメント (オフセット = 1)	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効

適用

図 7-4 DoS グローバル設定ページ

情報名	情報値
DMAC = SMAC	有効
Land攻撃	有効
UDP Blat	有効
TCP Blat	有効
POD (Ping of Death)	有効
ICMPフラグメントパケット	有効
IPv4 Ping最大パケットサイズ	有効 (512 バイト)
Smurf攻撃	有効 (ネットマスク長: 0)
TCP最小ヘッダー長	有効 (20 バイト)
TCP-SYN(SPORT<1024)	有効
ヌルスキャン攻撃	有効
X-Masスキャン攻撃	有効
TCP SYN-FIN攻撃	有効
TCP SYN-RST攻撃	有効
TCPフラグメント (オフセット = 1)	有効

図 7-5 DoS 情報ページ

フィールド	説明
DMAC = SMAC	ソースとデスティネーションのMACアドレスが同じ場合 ・無効: DoS設定の項目を無効にする。 ・有効: DoS設定の項目を有効にする。
Land	ソースとデスティネーションのIPv4/IPv6アドレスが同じ場合 ・無効: DoS設定の項目を無効にする。 ・有効: DoS設定の項目を有効にする。
UDP Blat	ソースとデスティネーションのUDPポートが同じ場合 ・無効: DoS設定の項目を無効にする。 ・有効: DoS設定の項目を有効にする。
TCP Blat	ソースとデスティネーションのTCPポートが同じ場合 ・無効: DoS設定の項目を無効にする。 ・有効: DoS設定の項目を有効にする。
POD	Pingパケット長が65535byteより長い場合 ・無効: DoS設定の項目を無効にする。 ・有効: DoS設定の項目を有効にする。
ICMPフラグメント	フラグメントICMPパケットの場合 ・無効: DoS設定の項目を無効にする。 ・有効: DoS設定の項目を有効にする。
IPv4 Ping最大サイズ	IPv4パケットに長さがある場合 ・無効: DoS設定の項目を無効にする。 ・有効: DoS設定の項目を有効にする。
Ping最大サイズ設定	Pingパケットの最大サイズを設定して下さい。 デフォルトは512byteですが必要に応じて設定できます。
Smurf攻撃	ICMPエコーパケットが宛先IPv4アドレスにブロードキャストアドレスを要求する場合 ・無効: DoS設定の項目を無効にする。 ・有効: DoS設定の項目を有効にする。 デフォルトのネットマスク長は0ですが必要に応じて設定できます。
TCP最小ヘッダーサイズ	TCPパケットのヘッダー長がコンフィグ値よりも短い場合、 ・無効: DoS設定の項目を無効にする。 ・有効: DoS設定の項目を有効にする。 デフォルトの最小TCPヘッダーサイズは20ですが必要に応じて設定できます。
TCP-SYN (SPORT<1024)	TCP SYNパケットのソースポートが1024未満の場合 ・無効: DoS設定の項目を無効にする。 ・有効: DoS設定の項目を有効にする。
ヌルスキャン攻撃	TCPシーケンス番号がゼロで、かつ全てのコントロールフラグがゼロ場合 ・無効: DoS設定の項目を無効にする。 ・有効: DoS設定の項目を有効にする。
X-Mas攻撃	TCPシーケンス番号がゼロで、かつFIN/URG/PSHフラグがセットされている場合 ・無効: DoS設定の項目を無効にする。 ・有効: DoS設定の項目を有効にする。
TCP SYN-FIN攻撃	TCPパケットのSYNとFINフラグがセットされている場合 ・無効: DoS設定の項目を無効にする。

	<ul style="list-style-type: none"> ・有効: DoS設定の項目を有効にする。
TCP SYN-RST攻撃	<p>TCPパケットのSYNとRSTフラグがセットされている場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無効: DoS設定の項目を無効にする。 ・有効: DoS設定の項目を有効にする。
TCPフラグメント (オフセット=1)	<p>フラグメントTCPパケットの場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無効: DoS設定の項目を無効にする。 ・有効: DoS設定の項目を有効にする。

表7-4 DoSグローバル設定フィールド

7. 3. 2 DoS ポート設定

DoS ポート設定ページを表示は、次の手順でクリック: セキュリティ > DoS > DoS ポート設定

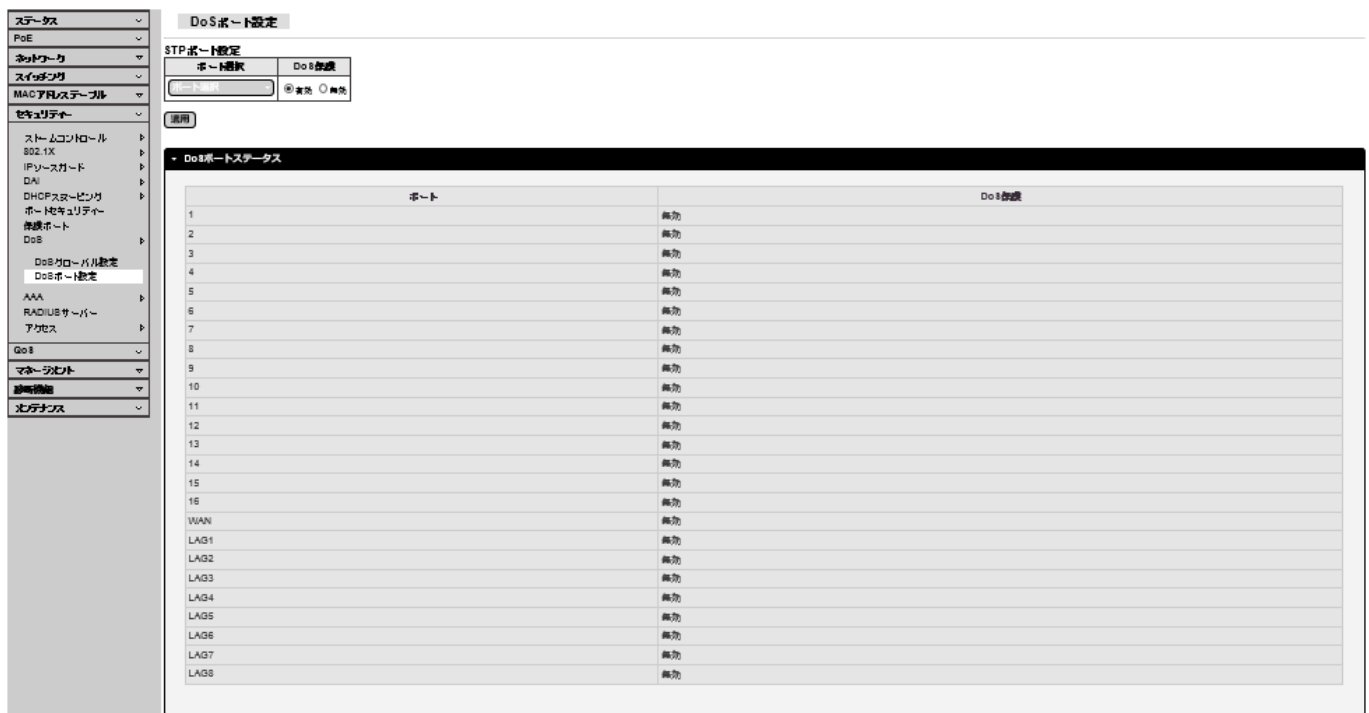


図 7-6 DoS ポート設定ページ

フィールド	説明
ポート選択	コンフィグレーション設定する1つまたは複数のポートを選択して下さい。
DoS保護	<p>ポート保護ステータスを設定して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無効: ポートのDoS保護機能を無効にする。 ・有効: ポートのDoS保護機能を有効にする。

表7-5 DoSポート設定フィールド

7.4 アクセス

7.4.1 HTTP

HTTP 設定のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック：**セキュリティ** > **アクセス** > **HTTP**

このページでは、すべての AAA リストを HTTP ラインへ結合できます。ここで結合した AAA リストでの認証によってユーザーは HTTP から Web 設定にアクセス可能になります。

フィールド	設定値
HTTPサービス	有効
ログイン認証リスト	default
セッションタイムアウト	10

図 7-7 HTTP 設定ページ

フィールド	説明
HTTPサービス	HTTPサービスの有効または無効を選択して下さい。
ログイン認証リスト	ログイン承認リストを選択して下さい。
セッションタイムアウト	ユーザーがHTTPプロトコルからウェブアクセスするセッションタイムアウト(分)を設定して下さい。セッションタイムアウト以内にユーザーの応答がない場合、自動的にウェブアクセスからログアウトします。 0に設定するとはタイムアウトはありません。

表 7-6 HTTP設定フィールド

7.4.2 HTTPS

HTTPS 設定のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック： **セキュリティ** > **アクセス** > **HTTPS**

このページでは、すべての AAA リストを HTTPS ラインへ結合できます。ここで結合した AAA リストでの認証によってユーザーは HTTPS から Web 設定にアクセス可能になります。

The screenshot shows the 'HTTPS設定' (HTTPS Configuration) page. On the left is a navigation menu with 'セキュリティ' (Security) > 'アクセス' (Access) > 'HTTPS' selected. The main content area has a title 'HTTPS設定' and a '適用' (Apply) button. Below the title is a configuration table:

HTTPSサービス	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
ログイン認証リスト	default
セッションタイムアウト	10 (0-86400) 分

Below this is a section titled 'HTTPS情報' (HTTPS Information) containing a summary table:

情報名	情報値
HTTPSサービス	無効
ログイン認証リスト	default
セッションタイムアウト	10

図 7-8 HTTPS 設定ページ

フィールド	説明
HTTPSサービス	HTTPSサービスの有効または無効を選択して下さい。
ログイン認証リスト	ログイン承認リストを選択して下さい。
セッションタイムアウト	ユーザーがHTTPSプロトコルからウェブアクセスするセッションタイムアウト(分)を設定して下さい。セッションタイムアウト以内にユーザーの応答がない場合、自動的にウェブアクセスからログアウトします。 0に設定するとはタイムアウトはありません。

表 7-7 HTTPS設定フィールド

8. QoS

QoS ページでは、スイッチの QoS インターフェースの設定項目をコンフィグレーション設定し、サービスを受けるためのリモートサーバーとの接続を規定します。

8.1 一般設定

QoS 一般設定ページでは、ベーシックおよびアドバンスド設定項目をコンフィグレーション設定します。

8.1.1 QoS プロパティ

QoS プロパティ設定のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック：**QoS** > **一般** > **QoS プロパティ**

情報名	情報値
QoSモード	無効

図 8-1 QoS プロパティ設定ページ

フィールド	説明
QoSモード	QoS動作モードを選択して下さい。 ・無効： QoSを無効にする。 ・ベーシック： QoSをベーシックモードにする。

表8-1 QoSプロパティ設定フィールド

8. 1. 2 ポート設定

ポート設定のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック： QoS > 一般 > ポート設定

図 8-2 QoS ポート設定ページ

フィールド	説明
ポート	コンフィグレーション設定する1つまたは複数のポートを選択して下さい。
CoS値	選択されたポートにデフォルトCoS/802.1p優先順位を設定して下さい。
リマークCoS	リマークCoSを有効または無効にする。
リマークDSCP	リマークDSCPを有効または無効にする。
リマークIP優先権	リマークIP優先権を有効または無効にする。

表8-2 QoSポート設定フィールド

8.1.3 キュー設定

キュー設定のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック： QoS > 一般 > キュー設定

キュー設定

キューテーブル

キュー	スケジュール方式			
	ストリクトプライオリティー	WRR	重み付け	% WRR帯域パーセント
1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	1	
2	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	2	
3	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	3	
4	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	4	
5	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	5	
6	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	9	
7	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	13	
8	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	15	

適用

▼ キュー情報

情報名	情報値
ストリクトプライオリティー番号	8

図 8-3 キュー設定ページ

フィールド	説明
キュー	コンフィグレーション設定するキューIDを選択して下さい。
ストリクトプライオリティー	ストリクトプライオリティーへのキューを設定して下さい。
WRR	WRR(重み付けラウンドロビン)へのキューを設定して下さい。
重み付け	キューのタイプがWRRの場合はキューの重み付けを設定して下さい。

表8-3 キュー設定フィールド

8. 1. 4 CoS マッピング

CoS マッピング設定のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック： QoS > 一般 > CoS マッピング

CoSマッピング

CoSからキューマッピング

サービスクラス	0	1	2	3	4	5	6	7
キュー	2	1	3	4	5	6	7	8

キューからCoSマッピング

キュー	1	2	3	4	5	6	7	8
サービスクラス	1	0	2	3	4	5	6	7

適用

CoSマッピング

CoS	キューへのマッピング
0	2
1	1
2	3
3	4
4	5
5	6
6	7
7	8

キュー	CoSへのマッピング
1	1
2	0
3	2
4	3
5	4
6	5
7	6
8	7

図 8-4 CoS マッピング設定ページ

フィールド	説明
サービスクラス	サービスクラスの値
キュー	サービスクラスのキューIDを選択して下さい。

表8-4 CoSからキューマッピング設定フィールド

フィールド	説明
キュー	キューID
サービスクラス	キューIDのサービスクラス値を選択して下さい。

表8-5 キューからCoSマッピング設定フィールド

8. 1. 5 DSCP マッピング

DSCP マッピング設定のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック： QoS > 一般 > DSCP マッピング

ステータス ▾

PoE ▾

ネットワーク ▾

スイッチング ▾

MACアドレステーブル ▾

セキュリティー ▾

QoS ▾

一般 >

QoSプロパティ

ポート設定

キュー設定

CoSマッピング

DSCPマッピング

IP優先権マッピング

QoSバースックモード >

レート制限 >

マネージメント ▾

診断機能 ▾

メンテナンス ▾

DSCPマッピング

DSCPからキューへのマッピング

DSCP	キュー
DSCP選択	1 ▾

キューからDSCPへのマッピング

キュー	1	2	3	4	5	6	7	8
DSCP	0 ▾	8 ▾	16 ▾	24 ▾	32 ▾	40 ▾	48 ▾	56 ▾

DSCPマッピング

DSCP	キューへのマッピング
0	1
1	1
2	1
3	1
4	1
5	1
6	1
7	1
8	2
9	2
10	2
11	2

キュー	DSCPへのマッピング
1	0
2	8
3	16
4	24
5	32
6	40
7	48
8	56

図 8-5 DSCP マッピング設定ページ

フィールド	説明
DSCP	コンフィグレーション設定する1つまたは複数のDSCPを選択して下さい。
キュー	DSCPのキューIDを選択して下さい。

表8-6 DSCPからキューマッピング設定フィールド

フィールド	説明
キュー	キューID
DSCP	キューIDのDSCP値を選択して下さい。

表8-7 キューからDSCPマッピング設定フィールド

8. 1. 6 IP 優先権マッピング

IP 優先権マッピング設定のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック： QoS > 一般 > IP 優先権マッピング

IP 優先権マッピング

IP 優先権からキューへのマッピング

IP 優先権	0	1	2	3	4	5	6	7
キュー	1	2	3	4	5	6	7	8

キューからIP優先権へのマッピング

Queue	1	2	3	4	5	6	7	8
IP 優先権	0	1	2	3	4	5	6	7

適用

IP 優先権マッピング

IP 優先権	キューへのマッピング
0	1
1	2
2	3
3	4
4	5
5	6
6	7
7	8

キュー	IP 優先権へのマッピング
1	0
2	1
3	2
4	3
5	4
6	5
7	6
8	7

図 8-6 IP 優先権設定ページ

フィールド	説明
IP 優先権	IP 優先権の値
キュー	IP 優先権値のキューIDを選択して下さい。

表8-8 IP 優先権からキューマッピング設定フィールド

フィールド	説明
キュー	キューID
IP 優先権	キューIDのIP 優先権値を選択して下さい。

表8-9 キューからIP 優先権マッピング設定フィールド

8.2 QoS ベーシックモード

QoS ベーシックモード設定ページでは、ベーシックモードの設定項目をコンフィグレーション設定します。

8.2.1 グローバル設定

グローバル設定のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック：**QoS > QoS ベーシックモード > グローバル設定**



図 8-7 ベーシックモードのグローバル設定ページ

フィールド	説明
トラストモード	<p>QoS動作モードを選択して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CoS/802.1p: トラフィックは、VLANタグのCoSフィールド値に基づくキューにマッピングされます。受信パケットにVLANタグがない場合は、デフォルトCoS値に基いてマッピングされます。 ・DSCP: すべてのIPTraフィックは、IPヘッダでDSCPフィールドに基づくキューにマッピングされます。トラフィックがIPTraフィックでない場合は、最下位優先順位キューにマッピングされます。 ・CoS/802.1p-DSCP: すべてのIPTraフィックは、IPヘッダのDSCPフィールドに基づくキューにマッピングされます。トラフィックがIPでなくてVLANタグを持つ場合は、VLANタグのCoS値に基づくキューにマッピングされます ・IP優先権: すべてのIPTraフィックは、IPヘッダのIP優先権フィールドに基づくキューにマッピングされます。トラフィックがIPTraフィックでない場合は、最下位優先順位キューにマッピングされます。 ・無し: すべてのトラフィックは、最下位優先順位キューにマッピングされます。

表8-10 QoSベーシックモードのグローバル設定フィールド

8. 2. 2 ポート設定

ポート設定のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック： QoS > QoS ベーシックモード > ポート設定

ポート	トラストタイプ
1	有効
2	有効
3	有効
4	有効
5	有効
6	有効
7	有効
8	有効
9	有効
10	有効
11	有効
12	有効
13	有効
14	有効
15	有効

図 8-8 QoS ベーシックモードのポート設定ページ

フィールド	説明
ポート	コンフィグレーション設定する1つまたは複数のポートを選択して下さい。
トラスト	ポートのトラストステートを選択して下さい。 ・ 有効 : このポートからのトラフィックは、グローバルトラストタイプになります。 ・ 無効 : トラフィックは、常に最下位優先順位キューへ行きます。

表8-11 QoSベーシックモードのポート設定フィールド

8.3 レート制限

QoS ベーシックモード設定ページでは、ベーシックモードの設定項目をコンフィグレーション設定します。

8.3.1 イングレス帯域制御

イングレス帯域制御設定のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック： QoS > レート制限 > イングレス帯域制御

The screenshot shows the 'Ingress Rate Control' configuration page. On the left is a navigation menu with 'QoS' expanded to 'Ingress Rate Control'. The main area is titled 'Ingress Rate Control' and contains a configuration table for 'Ingress Rate Control Settings'. The table has columns for 'Port', 'State', and 'Rate (Kbps)'. Below the table is an 'Apply' button. At the bottom, there is a table titled 'Ingress Rate Control Status' showing the status of rate control for ports 1 through 15, all currently set to 'Off'.

ポート	ステート	レート (Kbps)
ポート選択	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効	(16-1000000)

適用

ポート	イングレスレート制限 (Kbps)
1	オフ
2	オフ
3	オフ
4	オフ
5	オフ
6	オフ
7	オフ
8	オフ
9	オフ
10	オフ
11	オフ
12	オフ
13	オフ
14	オフ
15	オフ

図 8-9 イングレス帯域制御設定ページ

フィールド	説明
ポート	コンフィグレーション設定する1つまたは複数のポートを選択して下さい。
ステート	イングレス帯域制御を有効または無効に設定して下さい。
レート	レート値 <0-1000000>, 単位: 16Kbps

表8-12 イングレス帯域制御設定フィールド

8.3.2 イーグレス帯域制御

イーグレス帯域制御設定のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック： QoS > レート制限 > イーグレス帯域制御

イーグレス帯域制御

イーグレス帯域制御設定

ポート	ステート	レート (Kbps)
ポート選択	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効	(16-1000000)

適用

イーグレス帯域制御ステータス

ポート	イーグレスレート制限 (Kbps)
1	オフ
2	オフ
3	オフ
4	オフ
5	オフ
6	オフ
7	オフ
8	オフ
9	オフ
10	オフ
11	オフ
12	オフ
13	オフ
14	オフ
15	オフ

図 8-10 イーグレス帯域制御設定条件ページ

フィールド	説明
ポート	コンフィグレーション設定する1つまたは複数のポートを選択して下さい。
ステート	イーグレス帯域制御を有効または無効に設定して下さい。
レート	レート値 <0-1000000>, 単位: 16Kbps

表8-13 イーグレス帯域制御設定フィールド

8.3.3 イーグレスキュー

イーグレスキュー設定のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック： QoS > レート制限 > イーグレスキュー

The screenshot shows the 'イーグレスキュー帯域制御' (Egress Queue Bandwidth Control) configuration page. On the left is a navigation menu with categories like 'ステータス', 'PoE', 'ネットワーク', 'スイッチング', 'MACアドレステーブル', 'セキュリティ', 'QoS', 'マネージメント', '診断機能', and 'メンテナンス'. The 'QoS' menu is expanded to show '一般', 'QoSバースックモード', 'レート制限', 'イーグレス帯域制御', 'イーグレス帯域制御', and 'イーグレスキュー'. The main content area is titled 'イーグレスキュー帯域制御設定' and contains a form with the following fields:

- ポート**: A dropdown menu with '1' selected.
- キュー**: A dropdown menu with '1' selected.
- ステート**: Radio buttons for '無効' (selected) and '有効'.
- CIR(Kbps)**: A text input field with '(16-1000000)' as a hint.

Below the form is a '適用' (Apply) button. A section titled '1 キュー毎のイーグレスステータス' (Egress Status for Each Queue) contains a table with the following data:

キューID	レート制限 (Kbps)
1	オフ
2	オフ
3	オフ
4	オフ
5	オフ
6	オフ
7	オフ
8	オフ

図 8-11 イーグレスキュー設定ページ

フィールド	説明
ポート	コンフィグレーション設定する1つまたは複数のポートを選択して下さい。
キュー	コンフィグレーション設定するキューを選択して下さい
ステート	イーグレス帯域制御を有効または無効に設定して下さい。
レート	レート値 <0-1000000>, 単位:16Kbps

表8-14 イーグレスキュー設定フィールド

9. マネージメント

マネージメント設定ページでは、マネージメント・インターフェースの設定項目をコンフィグレーション設定し、サービスを受けるためのリモートサーバーとの接続を規定します。

9.1 SNMP

9.1.1 SNMP 設定

SNMP グローバル設定のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック： マネージメント> SNMP> SNMP 設定

このページでは、グローバル SNMP を有効または無効に設定します。

図 9-1 SNMP 設定ページ

フィールド	説明
ステート	SNMPグローバル設定 ・有効： SNMPを有効にする。 ・無効： SNMPを無効にする。
SNMP	SNMPグローバル情報 ・有効： SNMPは有効。 ・無効： SNMPは無効。

表9-1 SNMP設定フィールド

9. 1. 2 SNMP コミュニティー

SNM コミュニティー設定のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック： マネージメント > SNMP > SNM コミュニティー設定

このページでは、SNM コミュニティーエントリーの追加または削除を行います。

図 9-2 SNMP コミュニティー設定ページ

フィールド	説明
コミュニティ名	SNMPコミュニティ名
コミュニティモード	SNMPコミュニティモード ・ベーシック：SNMPコミュニティのビューとアクセス権を指定します。 ・アドバンスト：SNMPコミュニティのグループを指定します。
グループ名	SNMPコミュニティはグループ名を利用します。
ビュー名	SNMPリードおよびライトのビュー名
アクセス権	SNMPアクセスモード ・ro：リードオンリー（読み出しのみ） ・rw：リード&ライト（読み出し&書き込み）

表9-2 SNMPコミュニティ設定フィールド

10. 診断機能

診断機能ページでは、スイッチ診断機能および動作診断ユーティリティの設定項目をコンフィグレーション設定します。

10.1 ケーブル診断

10.1.1 カッパー試験

カッパー試験のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック：**診断機能** > **ケーブル診断** > **カッパー試験**

ポート	チャンネル A	ケーブル長 A	チャンネル B	ケーブル長 B	チャンネル C	ケーブル長 C	チャンネル D	ケーブル長 D	結果
WAN	ノーマル		ノーマル		ノーマル		ノーマル		合格

図 10-1 カッパー試験ページ

フィールド	説明
ポート	選択されたポートID

表10-1 SNMP設定フィールド

10.2 Ping 試験

Ping 試験のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック： **診断機能** > Ping 試験

図 10-2 Ping 試験ページ

フィールド	説明
IPアドレス	Ping試験のターゲットアドレス
回数	Pingリクエストパケットの送信回数
間隔	Pingリクエストパケットの送信間隔
サイズ	Pingパケットのサイズ
Ping結果	Ping試験後に、結果を表示します。

表10-2 Ping試験設定フィールド

10.3 ログ設定

10.3.1 ログサービス

ログサービス設定ページのウェブ・ページ表示は、次の順でクリック：**診断機能** > **ログ設定** > **ログサービス**

このページでは、ログ機能の有効または無効に設定します。

図 10-3 ログ設定ページ

フィールド	説明
ログサービス	ログシステムを有効または無効にします。

表10-3 ログ設定フィールド

10.3.2 ローカルロギング

ローカルロギング設定のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック： **診断機能** > **ロギング設定** > **ローカルロギング**

The screenshot shows the 'ローカルロギング' (Local Logging) configuration page. On the left is a sidebar menu with categories like 'ステータス', 'ネットワーク', and '診断機能'. The 'ローカルロギング' option is highlighted. The main content area has a title 'ローカルロギング' and a sub-section 'ローカルロギング設定'. This section contains a table with two columns: 'ターゲット' (Target) and '深刻度' (Severity). The 'ターゲット' column has a dropdown menu currently showing 'ターゲット選択'. The '深刻度' column has a dropdown menu currently showing '緊急'. Below this is a '適用' (Apply) button. Further down is a section titled 'ローカルロギング設定ステータス' (Local Logging Configuration Status) which contains a table with four columns: 'ステータス' (Status), 'ターゲット' (Target), '深刻度' (Severity), and 'アクション' (Action). The table lists two entries: one for 'バッファ' (Buffer) and one for 'コンソール' (Console), both with a status of '有効' (Enabled) and an '削除' (Delete) button.

図 10-4 ローカルロギング設定ページ

フィールド	説明
ターゲット	ログメッセージの保存先を選択して下さい。 ・ バッファ ： ログメッセージを装置のバッファに保存します。すべてのログメッセージは、システムを再起動すると消去されます。 ・ フラッシュ ： ログメッセージはフラッシュメモリーに保存します。すべてのログは、システムを再起動しても消去されません。
深刻度	保存するログメッセージの深刻度を選択して下さい。

表10-4 ローカルロギング設定フィールド

10. 3. 3 リモートロギング

リモートログ設定のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック： **診断機能** > **ロギング設定** > **リモートロギング**

このページでは、リモートロギングサーバー情報をコンフィグレーション設定します。

図 10-5 リモートロギング設定ページ

フィールド	説明
サーバーアドレス	リモートログサーバーのIPアドレス。
サーバーポート	リモートログサーバーのポート番号。
深刻度	リモートログサーバーに送信されるログメッセージの深刻度を選択して下さい。
設備	ログメッセージ送信先の設備を選択して下さい。

表10-5 リモートロギング設定フィールド

10.4 工場出荷設定

工場出荷設定のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック：**診断機能** > **工場出荷設定**

このページでは、「元に戻す」ボタンを押すことによってスイッチを工場出荷時のデフォルト設定に戻します。

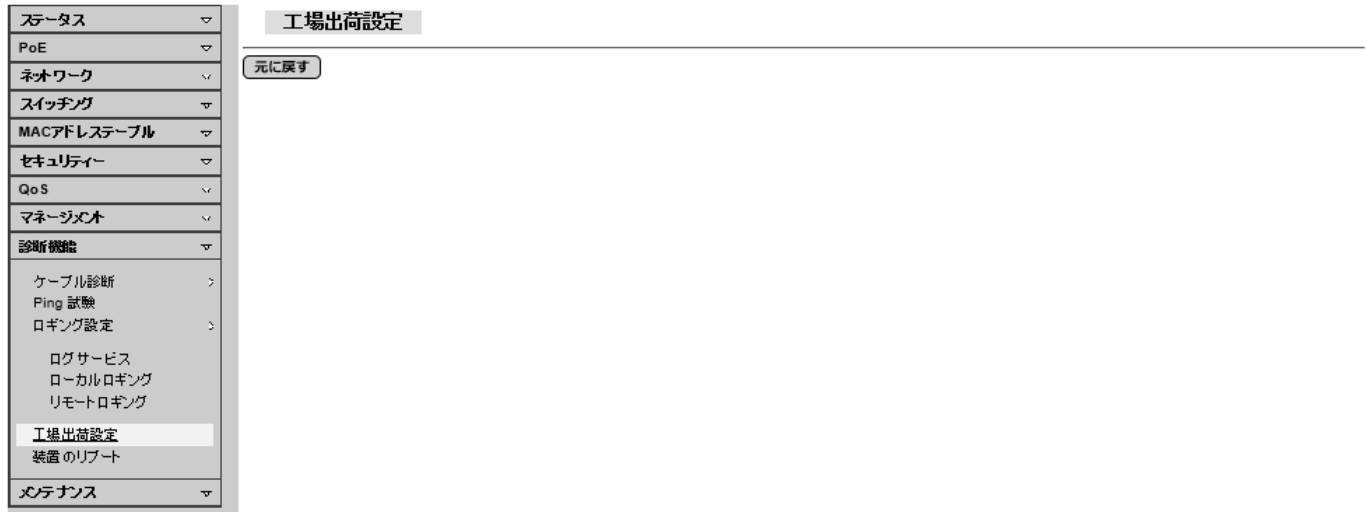


図 10-6 工場出荷設定ページ

10.5 装置のリポート

装置のリポートのウェブ・ページ表示は、次の順でクリック：**診断機能** > **装置のリポート**

このページでは、「リポート」ボタンを押すことによってスイッチをリポートできます。

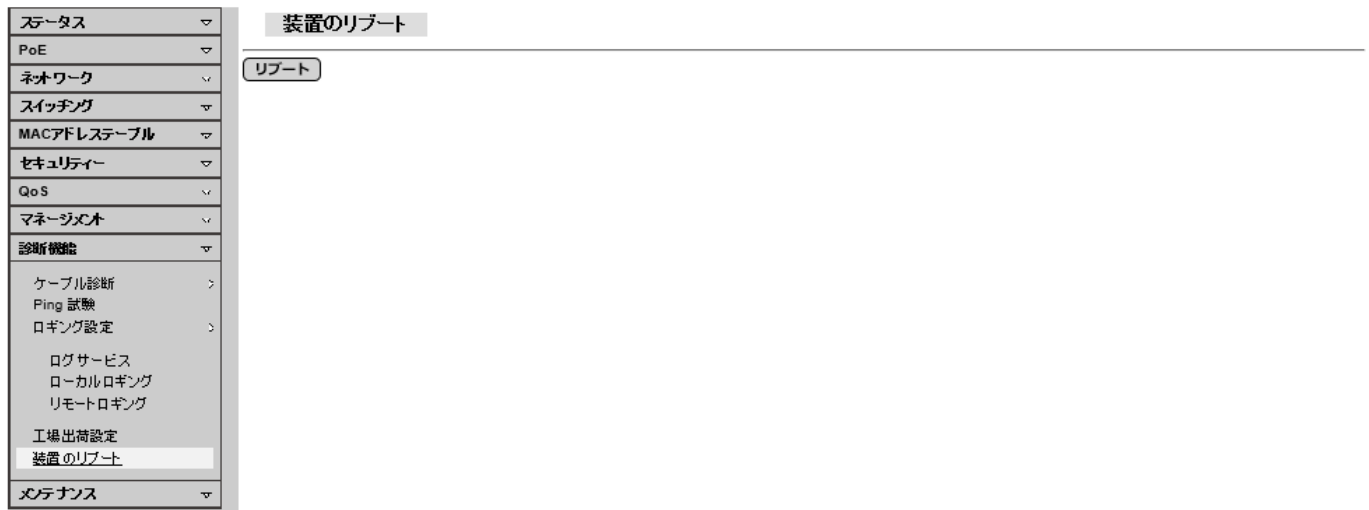


図 10-7 装置のリポート・ページ

11. メンテナンス

メンテナンス・ページでは、各種メンテナンス機能の設定と実行を行います。

11.1 バックアップマネージャー

バックアップマネージャーのウェブ・ページ表示は、次の順でクリック： **メンテナンス** > **バックアップマネージャー**

このページでは、リモート TFTP サーバーにファームウェアイメージまたは全種類のコンフィグレーションファイルをバックアップ、または HTTP プロトコルを使ってホストファイルシステムをバックアップできます。

ステータス	▼	バックアップマネージャー	
PoE	▼		
ネットワーク	▼		
スイッチング	▼		
MACアドレステーブル	▼		
セキュリティ	▼		
QoS	▼		
マネージメント	▼		
診断機能	▼		
メンテナンス	▼		
バックアップマネージャー	▼		
アップグレードマネージャー	▼		
デュアルイメージ	▼		
コンフィグレーションマネージャー	▼		
アカウントマネージャー	▼		

バックアップマネージャー	
バックアップ方式	TFTP ▼
サーバーIP	<input type="text"/>
バックアップタイプ	<input checked="" type="radio"/> イメージ <input type="radio"/> 動作コンフィグレーション <input type="radio"/> スタートアップコンフィグレーション <input type="radio"/> バックアップコンフィグレーション <input type="radio"/> フラッシュログ <input type="radio"/> バッファローグ
イメージ	<input type="radio"/> Abaniact-V111B00018.bix (バックアップ) <input checked="" type="radio"/> Abaniact-V111B00018.bix (アクティブ)

バックアップ

図 11-1 TFTP でイメージをバックアップする

ステータス	▼	バックアップマネージャー	
PoE	▼		
ネットワーク	▼		
スイッチング	▼		
MACアドレステーブル	▼		
セキュリティ	▼		
QoS	▼		
マネージメント	▼		
診断機能	▼		
メンテナンス	▼		
バックアップマネージャー	▼		
アップグレードマネージャー	▼		
デュアルイメージ	▼		
コンフィグレーションマネージャー	▼		
アカウントマネージャー	▼		

バックアップマネージャー	
バックアップ方式	TFTP ▼
サーバーIP	<input type="text"/>
バックアップタイプ	<input type="radio"/> イメージ <input checked="" type="radio"/> 動作コンフィグレーション <input type="radio"/> スタートアップコンフィグレーション <input type="radio"/> バックアップコンフィグレーション <input type="radio"/> フラッシュログ <input type="radio"/> バッファローグ

バックアップ

図 11-2 TFTP で動作コンフィグレーションをバックアップする

ステータス	▼	バックアップマネージャー	
PoE	▼		
ネットワーク	▼		
スイッチング	▼		
MACアドレステーブル	▼		
セキュリティ	▼		
QoS	▼		
マネージメント	▼		
診断機能	▼		
メンテナンス	▼		
<ul style="list-style-type: none"> バックアップマネージャー アップグレードマネージャー デュアルイメージ コンフィグレーションマネージャー アカウントマネージャー 			

バックアップマネージャー	
バックアップ方式	TFTP ▼
サーバーIP	<input type="text"/>
バックアップタイプ	<input type="radio"/> イメージ <input type="radio"/> 動作コンフィグレーション <input checked="" type="radio"/> スタートアップコンフィグレーション <input type="radio"/> バックアップコンフィグレーション <input type="radio"/> フラッシュログ <input type="radio"/> バッファログ

バックアップ

図 11-3 TFTP でスタートアップコンフィグレーションをバックアップする

ステータス	▼	バックアップマネージャー	
PoE	▼		
ネットワーク	▼		
スイッチング	▼		
MACアドレステーブル	▼		
セキュリティ	▼		
QoS	▼		
マネージメント	▼		
診断機能	▼		
メンテナンス	▼		
<ul style="list-style-type: none"> バックアップマネージャー アップグレードマネージャー デュアルイメージ コンフィグレーションマネージャー アカウントマネージャー 			

バックアップマネージャー	
バックアップ方式	TFTP ▼
サーバーIP	<input type="text"/>
バックアップタイプ	<input type="radio"/> イメージ <input type="radio"/> 動作コンフィグレーション <input type="radio"/> スタートアップコンフィグレーション <input type="radio"/> バックアップコンフィグレーション <input checked="" type="radio"/> フラッシュログ <input type="radio"/> バッファログ

バックアップ

図 11-4 TFTP でフラッシュのシステムログをバックアップする

ステータス	▼	バックアップマネージャー	
PoE	▼		
ネットワーク	▼		
スイッチング	▼		
MACアドレステーブル	▼		
セキュリティ	▼		
QoS	▼		
マネージメント	▼		
診断機能	▼		
メンテナンス	▼		
<ul style="list-style-type: none"> バックアップマネージャー アップグレードマネージャー デュアルイメージ コンフィグレーションマネージャー アカウントマネージャー 			

バックアップマネージャー	
バックアップ方式	TFTP ▼
サーバーIP	<input type="text"/>
バックアップタイプ	<input type="radio"/> イメージ <input type="radio"/> 動作コンフィグレーション <input type="radio"/> スタートアップコンフィグレーション <input type="radio"/> バックアップコンフィグレーション <input type="radio"/> フラッシュログ <input checked="" type="radio"/> バッファログ

バックアップ

図 11-5 TFTP でバッファのシステムログをバックアップする

ステータス	▼	バックアップマネージャー	
PoE	▼	バックアップマネージャー	
ネットワーク	▼	バックアップマネージャー	
スイッチング	▼	バックアップマネージャー	
MACアドレステーブル	▼	バックアップマネージャー	
セキュリティ	▼	バックアップマネージャー	
QoS	▼	バックアップマネージャー	
マネージメント	▼	バックアップマネージャー	
診断機能	▼	バックアップマネージャー	
メンテナンス	▼	バックアップマネージャー	
バックアップマネージャー		バックアップ	
アップグレードマネージャー			
デュアルイメージ			
コンフィグレーションマネージャー			
アカウントマネージャー			

バックアップ 方式	HTTP ▼
バックアップ タイプ	<input type="radio"/> イメージ <input type="radio"/> 動作コンフィグレーション <input type="radio"/> スタートアップコンフィグレーション <input type="radio"/> バックアップコンフィグレーション <input type="radio"/> フラッシュログ <input type="radio"/> バッファログ
イメージ	<input type="radio"/> Abaniact-V111B00018.bix (バックアップ) <input checked="" type="radio"/> Abaniact-V111B00018.bix (アクティブ)

図 11-6 HTTP でイメージをバックアップする

ステータス	▼	バックアップマネージャー	
PoE	▼	バックアップマネージャー	
ネットワーク	▼	バックアップマネージャー	
スイッチング	▼	バックアップマネージャー	
MACアドレステーブル	▼	バックアップマネージャー	
セキュリティ	▼	バックアップマネージャー	
QoS	▼	バックアップマネージャー	
マネージメント	▼	バックアップマネージャー	
診断機能	▼	バックアップマネージャー	
メンテナンス	▼	バックアップマネージャー	
バックアップマネージャー		バックアップ	
アップグレードマネージャー			
デュアルイメージ			
コンフィグレーションマネージャー			
アカウントマネージャー			

バックアップ 方式	HTTP ▼
バックアップ タイプ	<input type="radio"/> イメージ <input checked="" type="radio"/> 動作コンフィグレーション <input type="radio"/> スタートアップコンフィグレーション <input type="radio"/> バックアップコンフィグレーション <input type="radio"/> フラッシュログ <input type="radio"/> バッファログ

図 11-7 HTTP で動作コンフィグレーションをバックアップする。

ステータス	▼	バックアップマネージャー	
PoE	▼	バックアップマネージャー	
ネットワーク	▼	バックアップマネージャー	
スイッチング	▼	バックアップマネージャー	
MACアドレステーブル	▼	バックアップマネージャー	
セキュリティ	▼	バックアップマネージャー	
QoS	▼	バックアップマネージャー	
マネージメント	▼	バックアップマネージャー	
診断機能	▼	バックアップマネージャー	
メンテナンス	▼	バックアップマネージャー	
バックアップマネージャー		バックアップ	
アップグレードマネージャー			
デュアルイメージ			
コンフィグレーションマネージャー			
アカウントマネージャー			

バックアップ 方式	HTTP ▼
バックアップ タイプ	<input type="radio"/> イメージ <input type="radio"/> 動作コンフィグレーション <input checked="" type="radio"/> スタートアップコンフィグレーション <input type="radio"/> バックアップコンフィグレーション <input type="radio"/> フラッシュログ <input type="radio"/> バッファログ

図 11-8 HTTP でスタートアップコンフィグレーションをバックアップする

The screenshot shows the 'Backup Manager' configuration page. On the left is a navigation menu with categories like 'ステータス', 'ネットワーク', and 'メンテナンス'. The main content area is titled 'バックアップマネージャー' and contains a form with two sections: 'バックアップ方式' (Backup Method) and 'バックアップタイプ' (Backup Type). 'バックアップ方式' has a dropdown menu set to 'HTTP'. 'バックアップタイプ' has several radio button options: 'イメージ', '動作コンフィグレーション', 'スタートアップコンフィグレーション', 'バックアップコンフィグレーション', 'フラッシュログ' (which is selected), and 'バッファーログ'. Below the form is a 'バックアップ' button.

図 11-9 HTTP でフラッシュのシステムログをバックアップする

This screenshot is identical to Figure 11-9, showing the 'Backup Manager' configuration page. The 'バックアップタイプ' (Backup Type) section now has 'バッファーログ' (Buffer Log) selected with a radio button, while 'フラッシュログ' is unselected.

図 11-10 HTTP でバッファーのシステムログをバックアップする

フィールド	説明
バックアップ方式	バックアップ方式を選択して下さい。 ・TFTP: TFTPを使ってバックアップする。 ・HTTP: HTTPを使ってバックアップする。
サーバーIP	TFTPサーバーのIPアドレス。TFTPを使ったバックアップ方式を選択する場合は、TFTPサーバーのIPアドレスを設定する必要があります。
バックアップタイプ	バックアップするタイプを選択して下さい。 ・イメージ: 現在のシステムのファームウェアイメージ ・動作コンフィグレーション: 動作中のコンフィグレーションファイル ・スタートアップコンフィグレーション: スタートアップコンフィグレーションファイル ・フラッシュログ: フラッシュのシステムログファイル ・バッファーログ: バッファーのシステムログファイル
イメージ	バックアップタイプでイメージを選択した場合、バックアップするイメージをアクティブまたはバックアップのタから選択して下さい。

表11-1 バックアップマネージャー設定フィールド

11.2 アップグレードマネージャー

アップグレードマネージャーのウェブ・ページ表示は、次の順でクリック： **メンテナンス** > **アップグレードマネージャー**

このページでは、TFTP サーバーからまたはウェブ・ブラウザから新しいファームウェアイメージまたはコンフィギュレーションファイルをアップグレードできます。

アップグレードマネージャー	
アップグレード方式	TFTP
サーバーIP	<input type="text"/>
ファイル名	<input type="text"/>
アップグレードタイプ	<input checked="" type="radio"/> イメージ <input type="radio"/> スタートアップコンフィギュレーション <input type="radio"/> バックアップコンフィギュレーション <input type="radio"/> 動作コンフィギュレーション
イメージ	<input checked="" type="radio"/> バックアップ <input type="radio"/> アクティブ
アップグレード	

図 11-11 TFTP でイメージをアップグレードする

アップグレードマネージャー	
アップグレード方式	HTTP
アップグレードタイプ	<input checked="" type="radio"/> イメージ <input type="radio"/> スタートアップコンフィギュレーション <input type="radio"/> バックアップコンフィギュレーション <input type="radio"/> 動作コンフィギュレーション
イメージ	<input checked="" type="radio"/> バックアップ <input type="radio"/> アクティブ
ブラウズファイル	<input type="button" value="参照..."/>
アップグレード	

図 11-12 HTTP でイメージをのアップグレードする

フィールド	説明
アップグレード方式	アップグレード方式を選択して下さい。 ・TFTP: TFTPを使ってアップグレードする。 ・HTTP: HTTPを使ってアップグレードする。
サーバーIP	TFTPサーバーのIPアドレス。TFTPを使ったアップグレード方式を選択する場合は、TFTPサーバーのIPアドレスを設定する必要があります。
ファイル名	リモートTFTPサーバーからアップグレードするファームウェアイメージまたはコンフィギュレーションファイル。TFTPを使ったアップグレード方式を選択する場合は、ファイル名を設定する必要があります。
ブラウズファイル	HTTPを使ったアップグレード方法を選択する場合は、ホスト端末からアップグレードするファイルを選択します。
アップグレードタイプ	アップグレードするタイプを選択して下さい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージ: 現在のシステムのファームウェアイメージ ・スタートアップコンフィグレーション: スタートアップコンフィグレーションファイル ・動作コンフィグレーション: 動作中のコンフィグレーションファイル
--	--

表11-2 アップグレードマネージャー設定フィールド

11.3 デュアルイメージ

デュアルイメージ設定のウェブ・ページ表示は、次の順でクリック: **メンテナンス** > **デュアルイメージ**

このページは、デュアルイメージの1つをアクティブなファームウェアイメージとして選択できます。

図 11-13 デュアルイメージ設定ページ

フィールド	説明
アクティブイメージ	アクティブにしたイメージを選択して下さい。 ・(イメージ名1): フラッシュパーティション1のイメージ。 ・(イメージ名2): フラッシュパーティション2のイメージ。

表11-3 デュアルイメージ設定フィールド

11.4 コンフィギュレーションマネージャー

コンフィギュレーションマネージャーのウェブ・ページ表示は、次の順でクリック：**メンテナンス** > **コンフィギュレーションマネージャー**

このページでは、動作中のコンフィグレーション、スタートアップコンフィグレーションおよびバックアップコンフィグレーションをスタートアップコンフィグレーションまたはバックアップコンフィグレーションにコピーすることができます。

図 11-14 コンフィギュレーションマネージャー設定ページ

フィールド	説明
ソースファイル	<p>コピーするソースファイルを選択して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動作コンフィグレーション： 動作中のコンフィグレーションファイル ・スタートアップコンフィグレーション： スタートアップコンフィグレーションファイル ・バックアップコンフィグレーション： バックアップコンフィグレーションファイル
デスティネーションファイル	<p>コピーするデスティネーションファイルを選択して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動作コンフィグレーション： 動作中のコンフィグレーションファイル ・スタートアップコンフィグレーション： スタートアップコンフィグレーションファイル

表11-4 コンフィギュレーションマネージャー設定フィールド

11.5 アカウントマネージャー

アカウントマネージャーのウェブ・ページ表示は、次の順でクリック： **メンテナンス** > **アカウントマネージャー**

このページでは、認証のためのローカルユーザーデータベースの追加または削除ができます。

図 11-15 アカウントマネージャー設定ページ

フィールド	説明
ユーザー名	新しく登録するユーザー名
パスワードタイプ	登録するユーザーのパスワードタイプを選択して下さい。 ・暗号化無し： 暗号化無しのパスワード ・暗号化： 暗号化したパスワード ・パスワード無し： パスワードを設定しない。
パスワード入力	パスワードを入力して下さい(ただし「パスワード無し」の場合を除く)。
パスワード再入力	確認のためにパスワードを再入力して下さい。
特権タイプ	登録するユーザーの特権タイプを選択して下さい。 ・Admin： スイッチ設定の変更を許可します。 ・User： スイッチ設定の閲覧のみ許可し、変更は許可しません。

表11-5 アカウントマネージャー設定フィールド

AAA 機能が有効な場合、登録ユーザーにもう1つの特権タイプを割り当てが可能です。

図 11-16 AAA が有効時のアカウントマネージャー設定ページ

フィールド	説明
ユーザー名	新しく登録するユーザー名
パスワードタイプ	登録するユーザーのパスワードタイプを選択して下さい。 ・暗号化無し：暗号化無しのパスワード ・暗号化：暗号化したパスワード ・パスワード無し：パスワードを設定しない。
パスワード入力	パスワードを入力して下さい(ただし「パスワード無し」の場合を除く)。
パスワード再入力	確認のためにパスワードを再入力して下さい。
特権タイプ	登録するユーザーの特権タイプを選択して下さい。 ・Admin：スイッチ設定の変更を許可します。 (特権値 15 と同等) ・User：スイッチ設定の閲覧のみ許可し、変更は許可しません。 (特権値 1 と同等) ・Other：特権値で特権レベルを割り当てします。
特権値	特権タイプで Other を選択した場合に特権レベルを2-14の範囲で指定します。

表11-6 AAAが有効時のアカウントマネージャー設定フィールド

12. 本製品のソフトウェア仕様

項目	内容
スイッチング機能	ポートトラッキング (IEEE802.ad Manual Configuration) ポートミラーリング フローコントロール/受信時のみサポート ブロードキャストストームプロテクション スパニングツリー (IEEE 802.1D) Rapidスパニングツリー (IEEE802.1W) マルチプルスパニングツリー (IEEE802.1S) IGMP v2/v3スヌーピング MLD v1/v2スヌーピング DHCPスヌーピング BPDU透過 EAP透過 UDLD Jumboフレーム対応 イングレスフィルタリング HOLブロッキング防止
ポート管理	ループガード (LDF検出) ループガード (受信レート検出)
VLAN	ポートベースVLAN タグVLAN (IEEE802.1Q) マルチプルVLAN ダイナミックVLAN
QoS機能	キューの数: 8 優先制御 (Cos/ToS/DSCP/ポリシーベース) 帯域制限 スケジューリング (絶対優先、WRR)
認証機能/セキュリティ	IEEE802.1X認証 (Single Host/Multiple Host/Multiple Authentication) 802.1x暗号方式 (MD5/TLS/TTLS/PEAP) MACベース認証 (Multiple Authentication) Web認証 (Multiple Authentication) ポートセキュリティ アクセス参照 RADIUS認証
マネージメント	Webブラウザ設定 Telnet CLI SNMPv1/v2c, ログ SNMPクライアント DHCPクライアント MIB II (RFC1213) Extended Interface MIB (RFC2863 [if X Entry]) Bridge MIB (RFC1493) Dot1q MIB (RFC2674) Ethernet MIB (RFC3635) スクリプト, 統計情報の表示 ファームウェアおよび設定ファイルダウンロード (TFTP/HTTP)

マニュアルバージョン

2014年7月 Rev.A 初版

販売元 **因幡電機産業株式会社**
環境システム事業部

大 阪 / 〒550-0012 大阪市西区立売堀4-11-14 ☎(06)4391-1911
東 京 / 〒108-0075 東京都港区港南4-1-8 リバーージュ品川 6F ☎(03)5783-1738
名古屋 / 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2-14-19 住友生命名古屋ビル 5F ☎(052)541-1785

ホームページアドレス <http://www.abaniact.com/L2SW>

お願い

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは固くお断りします。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については、万全を期して作成いたしました。が、万が一不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 運用した結果の影響については、前項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、または、販売店以外の第三者により修理・変更されたことなどに起因して生じた障害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品を廃棄する場合には、廃棄時点における関係法令に従って廃棄してください。